KSJ
希望しあわせ事業団

令和4年度　事業報告書及び決算書

2022 ANNUAL REPORT

社会福祉法人 京都府社会福祉事業団

令和4年度 事業報告書 及び 決算書

社会福祉法人京都府社会福祉事業団

目　次
CONTENTS

法人概要 …… 1

運営施設及び主な実施事業

法人共通の取組み

- 中期運営計画 2021 → 2025 …… 3
- 安心・安全を確保やサービス向上の取組み …… 4
- 多様な主体との連携による特色ある取組み …… 5
- 魅力発信・人材確保の取組み …… 6
- 人材育成 …… 7
- 働きやすい職場づくりの取組み …… 8

施設別の取組み

- 心身障害者福祉センター …… 9
- 洛南寮 …… 13
- 東山母子生活支援施設 …… 17
- 視力障害者福祉センター …… 19
- 桃山学園 …… 21
- こども発達支援センター …… 25
- 発達障害者支援センター …… 27

関連資料 …… 30

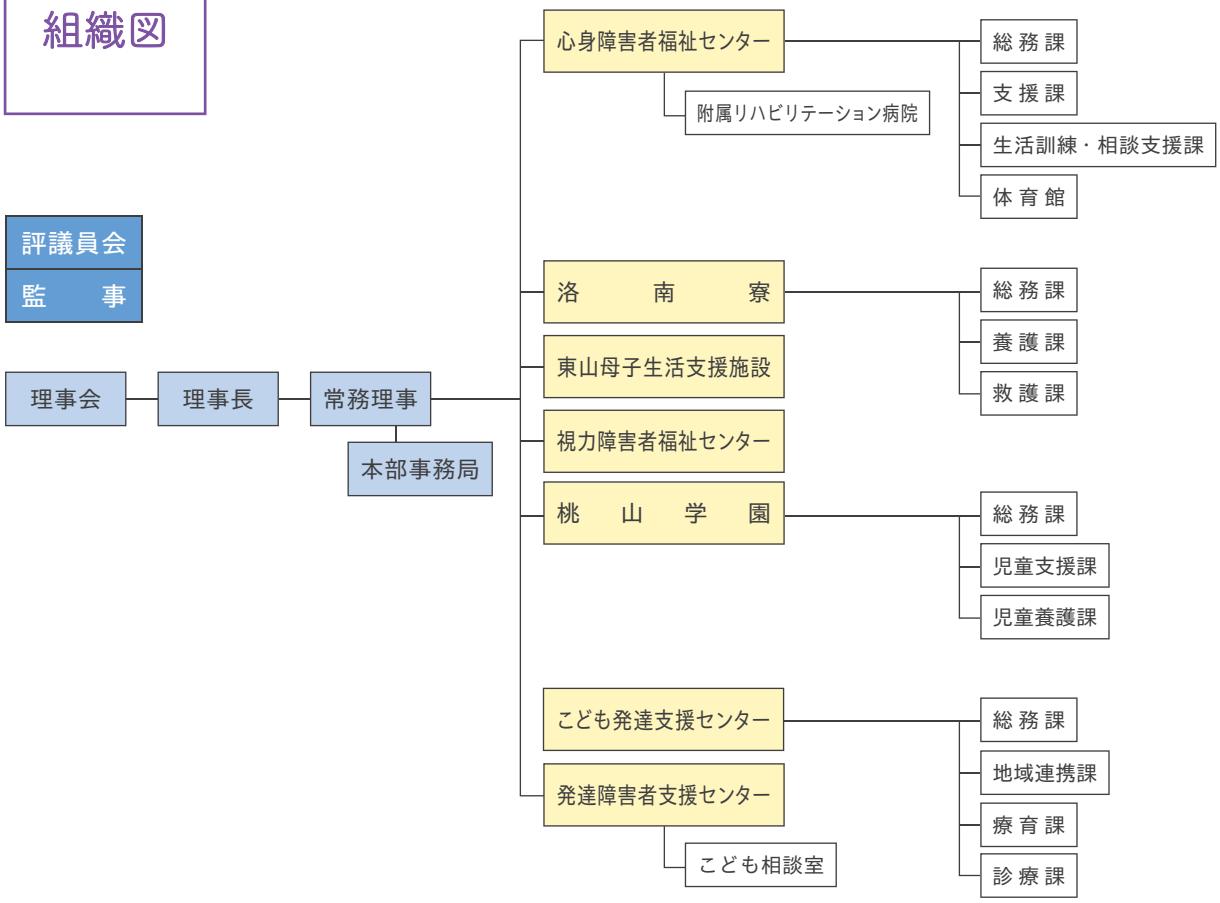
職員配置状況 …… 86

決算報告書（抜粋版）…… 88

法人概要

法 人 名	社会福祉法人京都府社会福祉事業団
代表者名	理事長　中本　晴夫
基本財産	10,000,000 円
設立年月日	昭和 52 年 8 月 2 日
主たる事務所	京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町 375 番地
ホームページ	https://ksj.or.jp/

組織図



運営施設 及び 主な実施事業

心身障害者福祉センター	障害者支援施設（施設入所・生活介護・自立訓練・短期入所）／一般・特定相談支援事業／体育館
（附属リハビリテーション病院）	病院（整形外科・リハビリテーション科・神経内科（高次脳機能障害専門外来）・精神科・歯科・内科（循環器）・泌尿器科）
洛南寮	養護老人ホーム／特定施設入居者生活介護事業 救護施設（居宅生活訓練事業・認定就労訓練事業等）
東山母子生活支援施設	母子生活支援施設（DV 一時保護事業）
視力障害者福祉センター	障害者支援施設（施設入所・就労移行支援事業）／特定相談支援事業
桃山学園	障害児入所施設（短期入所・日中一時支援事業）／一般・特定相談支援事業 児童養護施設（子育て支援事業）
こども発達支援センター（すてっぷセンター）	児童発達支援センター（福祉型・医療型・児童発達支援事業 ※重症心身障害児） 放課後等デイサービス／保育所等訪問支援／障害児相談支援事業／診療所（小児科・児童精神科・整形外科）
発達障害者支援センター（はばたき）	発達障害者支援センター（こども相談室（ぐーちょきぱー））

法人共通

中期運営計画 2021 → 2025

実現したい3つの将来像

vision 01　利用者一人ひとりの満足度の向上を追求し続ける事業団

vision 02　地域や企業、大学など様々な主体とともに歩み続ける事業団

vision 03　人・財力を高め、強固な組織へと進化し続ける事業団

設立45年が経過

KSJブランディング事業

＊KSJ（京都府社会福祉事業団）＝K（希望）S（幸せ）J（事業団）

法人の特徴とは…

○府立施設を運営する責任を果たす

○社会のセーフティネットの役割

○“総合”社会福祉法人（5つの分野）

多様な種別の施設を一括運営している強みを活かし、分野を超えての連携や課題に対する多様な支援が可能

令和４年度に節目の年度を迎え、改めて自法人の「強み」「特徴」を再認識し、存在感を高めるように取り組みました。

５つの分野を支える社会福祉法人

ブランディングイベント

◎10/2　世界的ソプラノ歌手(田中彩子氏)とこども達との交流会を開催

将来への夢や希望を描く契機に！

桃山学園・東山母子生活支援施設の児童を対象に、世界でプロとして活躍中の田中彩子氏と交流（講演・クイズなど）し、成功に向けての道のりや努力されたこと、そしてプロの歌声等を体感してもらいました。（総勢28名が参加）

◎11/20　KSJ社会福祉セミナーを開催 府民や関係者とともに学ぶ

社会保障制度の理解を促進

講師には、鈴木俊彦氏（元厚生労働省事務次官）をお招きし、日本が抱える人口・財源の問題、地域共生社会の実現の必要性等、豊富なデータを交えながら2040年の新たな社会保障についてご講義いただきました。（総勢81名が参加）

実現したい3つの将来像

vision 01 より

利用者満足度の向上

安心・安全の確保やサービス向上の取組み

◎ 新型コロナウイルス発症者への対応・発生後の対応

クラスター発生

新型コロナウイルス感染症については、感染拡大に伴い、利用者、職員とも感染が拡大し、クラスターが発生した施設もありました。
事業団では、業務継続ガイドラインに従い、以下の対応策をとりながら業務を継続しました。

対　応▸
- 病院や関係機関との連携によるサポート、正しいゾーニング、備蓄品確保業務を継続しました。
- 法人内の施設間での応援派遣による職員体制の確保
- ワクチン接種や抗原検査の定期的実施

◎ 介護機器及びICT機器の導入・活用

洛南寮 | ICT化によるサービス向上と業務効率の両立

新たな介護システム「ケアカルテ」と音声入力ソフト「ハナスト」（インカム）を導入しました。
インカムを利用し、職員間での情報共有が同時に行えるとともに、音声のみで介護ソフトへの記録ができるなど、より効率的で効果的な支援を目指して導入いたしました。

心身障害者福祉センター | 安全で快適な移動・移乗

最新型の床走行型リフト「モーリフト」を２台更新しました。
本機を使用することで、２名で行うベッドから車椅子への移動介助が一人でも可能になります。最新型に更新したことで、さらに安全性が高まりました。

◎ 支援内容の充実

桃山学園 | 障害児入所施設

小規模グループケアの導入

個々の障害特性に応じた小規模なグループで療育や心理的ケアを行うことで、きめ細やかな個別支援を行えるよう、小規模グループケアを開始しました。

こども発達支援センター | 児童発達支援センター

「発達障害児支援医療・保健・福祉・教育等連携強化事業」を京都府事業として開始し、発達障害児と保護者が適切な機関へ繋がるよう医療、保健、福祉、教育の地域連携体制の整備を始めました。

◎ 機器の更新及び設備改修による環境整備

心身障害者福祉センター

- ▶体育館内の天井照明を水銀灯からLED化工事を行い、快適な空間づくりや省電力による環境に優しい設備を整えました。
- ▶大型仰臥位入浴装置・上肢用渦流浴装置導入し、入浴介助の安全性向上とリハビリテーションの充実を図りました。

洛南寮

- ▶利用者の高齢者に伴い、電動ベッドを19台更新し、要介護が高い方へも快適かつ安全な介護が行える環境を整えました。

実現したい3つの将来像

vision 02 より

多様な主体との連携

特色ある取組みの推進

KSJ × 地域 ◎地域における公益的な取組みの推進

地域の小中学校にて車椅子体験授業

心身障害者福祉センター

南城陽中学校他、地域の小中学校へ訪問し、車椅子操作の講習や体験実習指導を行いました。

「出前講座」開講

附属リハビリテーション病院

地域住民を対象に、骨粗鬆症や体操、パラスポーツについての講演、医療スタッフによる骨密度測定を実施しました。

「あん摩奉仕」で
地域の方へ日頃の感謝を

視力障害者福祉センター

地域の皆様へ感謝を込めてあん摩施術の無償奉仕を行いました。
初めての方、毎年常連の方多くの方々にお越しいただきました。

KSJ × 大学

京都女子大学リカレント教育課程

心身障害者福祉センター / 発達障害者支援センター

施設見学や、発達障害に関する講義を行い、福祉への理解促進や働き方のイメージづくりに繋がるプログラムを法人として参画しました。

KSJ × 企業 ◎福祉以外の分野へのチャレンジ

㈱ミツフジ スマートウォッチ開発協力

法人全体

自分自身の健康や幸せを客観的に可視化できる新たな健康指標の構築につながる機器の開発に職員がモニターとなり協力しました。

中小企業家同友会
「社会的養護について学ぶ研修会」で講義

桃山学園

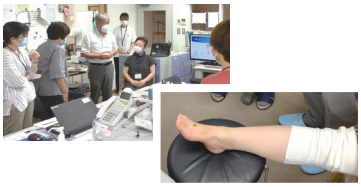
児童の職場体験における職業理解や自己肯定感の向上等、地域企業と児童養護施設との交流の取り組みや効果について全国からの参加者に向けて報告しました。

KSJ × KSJ ◎法人内における各施設の連携

通園児の保護者に向けた
ブラッシング指導

附属リハビリテーション病院
×
こども発達支援センター

附属リハビリテーション病院の歯科衛生士がこども発達支援センターの通園児保護者に向けてブラッシング指導を行いました。
口腔ケアについて学んでいただき、衛生指導にも繋がりました。



東洋医学による
女性のためのセルフケア

東山母子生活支援施設
×
視力障害者福祉センター

視力障害者福祉センターの東洋医学知識や技術を活かし、肩こりのほぐし方やツボの押し方等、女性のためのセルフケア方法について学びました。

発達障害者支援センター職員の
スーパーバイズを交えた研修会の実施

発達障害者支援センター
×
桃山学園
×
東山母子生活支援施設

発達障害のある児童への関わりや課題への専門的な対応が必要になってきたことから、発達障害者支援センターが、桃山学園児童養護施設や東山母子生活支援施設それぞれのケース会議等に参画し、スーパーバイズや関わり方のレクチャーを行いました。

実現したい3つの将来像

vision 03 より

組織基盤の強化

魅力発信・人材確保の取組み

「京都移住計画」サイトより

新しいターゲットの求職者へのアプローチ 京都移住計画への掲載

京都への移住に係るサポートをしている「京都移住計画」のサイトへ掲載し、京都で働きたい求職者の方に向けて紹介 Web サイトに法人の情報を掲載し、対象者の拡大を進めました。

動画撮影の様子

全国の学生を対象にした「福祉留学」の受入先として参画

希望する地域で暮らしながらインターン体験をする「福祉留学」の受入先として参画し、全国の学生を対象としたインターンの受入を開始しました。また、利用者や職員へのインタビュー、地域の魅力スポット紹介動画を作成し、魅力発信の強化に努めました。

個別説明会
61 名参加（22回）

就職フェア
82 名参加（9回）

実習・インターンシップ受入
163 名

採用人数
29 名
（R4 4/2～R5 4/1 採用者）

採用者数	新　卒	既　卒	合　計
支　援　員	12	5	17
理学療法士	2	2	4
作業療法士	1	0	1
言語聴覚士	0	2	2
看　護　師	0	4	4
医　　師	0	1	1
合　　計	15	14	29

◎職員が自ら自施設の特色・魅力を紹介

施設見学やインターンシップ時には自施設の魅力やリアルな声を直接お伝えしました！

実現したい3つの将来像

vision 03 より

組織基盤の強化

人材育成

◎ 実践した取組みを積極的に発表

▶ 法人内実践・研究発表会

2月7日
サービス向上に向けた新たな取組みや既存事業の充実、専門領域における専門的なテーマで発表会を開催しました。今年度は施設間連携による合同発表もありました。
（ハートピア京都）

▶ 全国規模のイベントでの発表

9月15日
全国経営者協議会全国大会にて救護施設の取組みを発表
（青森）
10月27日～11月26日
全国社会福祉事業団協議会全国大会で中期運営計画策定について発表　（オンライン）

◎ 新規採用職員への育成支援

▶ フォローアップ研修を開催

入職後、3か月目と6か月目にフォローアップ研修を開催し、同期職員同士の交流を深めながら、サポートに努めました。

▶ エルダー職員同士の座談会を開催

8月25日
新規採用職員をサポートするエルダー職員を対象に、(株)リンクアンドモチベーションの樫原先生から、福祉現場のOJTで言語化することの重要性や、コミュニケーションタイプ診断の活用による効果的な関わり方等講義いただきました。また、座談会では悩みやエピソードを共有し合いました。

◎ 国家資格取得を支援

社会福祉士 3 名、介護福祉士 2 名が働きながら取得

◎ 戦略的人材確保検討会議による5つの取組みを検討・策定

1 学校別リクルーター新設（令和5年3月～）
- 計5校の大学に対してリクルーターを設置し、大学との連携を強化

2 人事異動の多様化
- 公募制人事異動/初期キャリア形成期間の積極的なジョブローテーション
- 他法人との人事交流/女性職員の管理職登用/若手職員の役職登用など

3 新規採用職員育成システムの再構築
- エルダー制度の見直し・メンターの新設

4 資格取得支援制度の実施
- 若手・中堅職員の国家資格取得・登録に必要な経費を支援

5 実践・研究チャレンジ制度の創設
- 利用者満足度の向上等に繋がる調査研究活動に必要な経費を支援

R5年～ スタート

実現したい3つの将来像

vision 03 より

組織基盤の強化

働きやすい職場づくりの取組み

◎ オンライン会議やグループウェアの活用

時間外労働時間
7.5 時間 / 月
（昨年度 7.3 時間 / 月）

女性の管理職割合：
31.3%（R3　35.5%）
役付職員の割合：
67.6%（R3　62.5%）

年次有給休暇取得率
55.4%
年次有給休暇取得数
11.1 日

離職率
8.6%
（昨年度 8.2%）

子育て制度における、職員への制度理解促進のために「子育て応援ハンドブック」を作成しています。
令和４年10月からの制度改正を踏まえ、更なる育児休業取得促進に向けて充実させました。

健康サポート・子育て支援の取組み

- 人間ドックの充実…節目年齢時の全額補助開始
- 男性の育児休暇取得　1 名

受診率UP 18.9% ▸ 29.4%

◎「きょうと福祉人材育成認証制度」上位認証を更新

評価された点

職員の意見を聞きながらボトムアップ式に PDCA サイクルを回している。

人材定着へのフォローが手厚く、離職率が低い。
正規職員の離職率：8.2%
新卒入職者の
1 年以内の離職率：0%（R3 年度）

重点取組事項

有給休暇取得率の更なる向上
（目標：50% 以上）

専門資格の取得促進に向けた資格取得奨励制度の充実

審査時のプレゼンの様子

◎ 京都障害者ワークフェア「京都はあとふる企業」に認証

京都障害者ワークフェア「京都はあとふる企業」に認証されました！

障害のある方を積極的に雇用している企業として「京都はあとふる企業（障害者雇用推進企業）」に認証され、「京都障害者ワークフェア」において表彰いただきました！
引き続き、法人内でも誰もが働きやすい職場づくりを目指すとともに、障害者雇用に向けた理解・促進に努めてまいります。

働きやすい環境整備への工夫

- バリアフリーや防護マットの整備
- 歩行ルールの整備
- IT 機器・音声読み上げソフトの整備
- 日常業務のサポートを行うアシスタント職員の配置

心身障害者福祉センター

（1）障害者支援施設・生活訓練事業所・相談支援事業所・体育館

1年間の総括

障害者支援施設あしはらの丘では、利用者への支援向上のため、各種マニュアル（感染症にかかるBCP等）の更新や質の高い個別支援計画を作成するための研修受講、医療的ケア導入に向けた学習会を実施しました。

また、併設の附属リハビリテーション病院や体育館と連携し、セラピストによるリハビリや集団でのスポーツ活動を定期的に行いました。日中活動についてはコロナ禍で規模は縮小しましたが、「とっておきの芸術祭」への出展作品の作成やノウフク連携を意識したシイタケ栽培の試行をしました。外出支援についてはコロナ感染予防のため十分に実施できませんでしたが、その代わりとして職員による買物代行等を行うなどの利用者支援に努めました。

地域との連携としては、城陽市社会福祉協議会等と連携し、小中学校（4校）での福祉体験学習を行い、福祉への理解促進を図るとともに、地域とのつながりを強めるよう取り組みました。

生活訓練事業所ひまわりでは、関係機関と連携し、6名の方が訓練期間を終了されました。

（終了後：職場復帰…1名、一般就労…1名、就労継続A型事業所…2名、
就労継続B型事業所…1名、介護保険サービス利用…1名）

相談支援事業所TOMOでは、併設の障害者入所施設利用者に対する計画相談支援に加え、附属リハビリテーション病院の入院患者への相談を行いました。

体育館では、京都府南部の障害者スポーツ・レクリエーションの活動拠点として障害者スポーツ教室の実施（年19回）をはじめ、パラ・パワーリフティングのナショナルトレーニングセンター指定施設として競技団体の強化練習、合宿や「第5回チャレンジカップ京都」の開催に協力しました。

主な取組み

〔障害者支援施設　あしはらの丘〕

利用者ニーズに沿った日中活動の更なる充実

◆「ものづくり、創作」班を新たに設置し、手芸・陶芸等作品の製作に取り組み、『とっておきの芸術祭』への出品や「城陽市ふれあいまつり」での販売により、利用者のモチベーションアップにつながりました。

◆施設内販売「ショップあしはら」も、利用者からの声を反映した商品を扱うなど、食品や日用品を気軽に入手できる憩いの場所になりました。

◆ノウフク連携の取組みとして、車いす利用者が取組みやすいシイタケ栽培を試行し、次年度以降の本格実施につなげました。

手作りの Instagram 枠で写真撮影

医療的ケア導入を目指した研修会等の開催

◆医療的ケアの導入をめざし、喀痰吸引研修受講後の報告や、医療的ケアの現状等をテーマに講義とグループ討議を行い導入に向けての職員意識向上につなげました。（参加：14名）また、感染症予防研修に取り組みました。

看護師を講師に招いた研修

新たな介護機器等導入の推進

◆「介護機器及びIT機器導入検討チーム」が中心となり、先進的な機器に関する情報を収集し、新たな介助ロボットや移乗機器の試行を行いました。今年度は補助金を活用し、移乗用リフター２台を更新して日々の介助業務の安全性向上や職員の負担軽減につなげました。

地元小・中学校での車いす体験学習への講師の派遣

◆小学校３校、中学校１校が開催する福祉体験学習へ講師として職員を派遣しました。初めて訪問した学校へは、城陽市社会福祉協議会と連携し、体験後の振り返り学習を行い、児童の福祉に対する理解促進につなげることができました。

〔生活訓練事業所　ひまわり〕

社会復帰に向けた訓練や支える家族等を交えた交流会の開催

◆職場復帰される方には、新たに京都府リハビリテーション支援センター、京都障害者職業センター等との連携で、実際の作業に近い動作や就業する時間に合わせる支援を行い、就労を目指す方には、職業的リハビリ（ピッキング（拾い集める）やパソコン入力）を実施しました。

◆スタートして４回目を迎える「南部高次脳カフェ」には、訓練修了者や通所者、その家族、また、高次脳機能障害の当事者とその家族に参加いただき、就労先や家庭での困りごとや生活の工夫などを話しあうことができました。「障害を抱えても働いている方もいるのですね、元気を貰いました。」との感想をいただきました。

新型コロナウイルス感染症の影響からの復調ならず、利用者数は減少傾向

◆障害者支援施設あしはらの丘では、昨年度末発生のクラスターによる影響で利用者数が減少して以降、新たに４名の入所はありましたが退所者（７名）もあり、年度末は43名と、目標（50名）人数には至りませんでした。

◆生活訓練事業所ひまわりでは、登録利用者数が平均９名（目標12名）、１日平均利用者数が3.3名（目標４名）、相談支援事業所TOMOでは、サービス等利用計画、モニタリング報告書の作成が151件（目標130件）となりました。

（2）附属リハビリテーション病院

1年間の総括

人工関節置換術など高度な手術や高次脳機能障害専門外来といった附属リハビリテーション病院の特色を活かした多様な医療サービスを、京都府立医科大学附属病院と連携して提供することで、地域の皆様の健康と快適な暮らしを支え、地域の皆様から信頼される病院運営に努めました。コロナ禍において、院内における感染予防対策を徹底し、新型コロナ感染症ワクチン接種医療機関としての対応や、送迎バスの開始ほか、多職種職員が一体となって稼働率の向上に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症による影響は大きく、外来・入院患者数は減少いたしました。

地域に向けた活動としては、コロナ禍前の頻度や内容での実施には至りませんでしたが、２年ぶりに城陽市東部コミュニティーセンターで地域住民対象の出前講座を開催することができました。また、感染予防を図りながら職員の専門性向上に努めました。

施設間連携としては、こども発達支援センターを利用する児童への歯科健診、保護者を対象とした歯の健康講演、ブラッシング指導等を実施しました。

また、京都府南部地域の「高次脳機能障害対応医療機関」の中核医療機関として、生活訓練事業所ひまわりと連携し、高次脳機能障害患者の社会復帰を支援しました。

さらに、日本初のメダリスト誕生をめざしパラリンピック・パワーリフティング選手への医科学的サポートを行うなど、スポーツを通した障害者支援活動に取り組みました。

主な取組み

他病院等との連携による医療サービスの提供

◆府立医科大学整形外科教室、リウマチセンター、リハビリテーション医学教室など他院との連携を拡充し、患者の積極的受入れに努めました。

・手術患者　年 51 名（目標 50 名）
・高次脳機能障害専門外来新規患者年 16 名（目標 20 名）
・生活訓練事業所ひまわりへの紹介　6 名（目標 5 名）
・術前等口腔ケア患者年 34 名（目標 30 名）
・新規障害児（者）歯科患者年 16 名（目標 15 名）

◆近隣の南京都病院とは、互いの専門性を活かした機能分担や患者送迎バスの利用等について、城陽市、宇治田原町内の診療所等とは、地域医療における病診連携についてそれぞれ、院長や看護師等が訪問の上、意見交換し、連携に努めました。

病院専門的知見を地域へ還元

出前講座での院長による講義

◆コロナ禍で実施を見送ってきた「出前講座」を、２年ぶりに城陽市東部コミュニティーセンターで開催し（11月）、院長による講義と、ロコモ体操や骨密度測定を行いました。（参加者46名）

＜講義テーマ＞
『あなたの骨は大丈夫？～ステイホームで弱った骨を強くしよう！～』

高度医療サービスの提供に向けた勉強会等の開催

こども発達支援センターでの
ブラッシング指導の様子

◆佛教大学理学療法学科准教授を招き、解剖学・運動学をベースとした変形性股関節症の治療や非特異的腰痛に対する評価と運動療法等をテーマに勉強会を行い、知識の共有と運動療法の評価方法を学びました。（2回）

◆高次脳機能障害支援事業関係職員研修会や京都府看護協会主催の研修、京都府リハビリテーション教育センター実践セミナーなどに参加（参加研修数30件、延べ参加者数84名）し、新たな知識や技術の取得に努めました。

◆事業団内の施設間連携の一環として、こども発達支援センターとシームレスなリハビリ提供の連携等を目指し、セラピスト間での意見交換会を実施しました。
また、児童対象の歯科健診、ブラッシング指導等を開始するとともに、補装具作成の支援準備に着手しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底に努めるも患者数は減少

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大が収まらない中、必要な情報収集や他院との連携、院内における拡大防止対策の徹底に努めるとともに、ワクチン接種医療機関としても積極的に対応したものの、感染の影響による手術の中止・延期等もあり、全体的な患者数の減少は回復に至りませんでした。

当院の特色である高次脳機能障害専門外来があることや、パラ・パワーリフティングのナショナルトレーニングセンターへの医学的サポートを行っている実績から、若年層向けの生涯医療やスポーツ医学の相談対応なども行うことができる等、SNSやホームページを活用し、病院としての魅力のさらなるPRを継続していくこととします。

◆１日当たりの患者数　外来 58.8名（目標70名）　目標達成率 84%
　　入院 12.5名（目標15名）　〃　83%

洛南寮

（1）養護老人ホーム

1年間の総括

養護老人ホームとして、地域で生活する上で様々な生活課題や福祉的な課題を抱える高齢者を受け入れ、一人ひとりの人権を尊重し、心身ともに健康で安心できる暮らしと自立した日常生活を送っていただけるよう支援に努めました。

新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し（5月・7月・1月）、その期間は、行事や日中活動、外出を全面ストップせざるを得ませんでしたが、随時、「京都府感染対策チーム」の指導を受けながら感染症対策を徹底し、外出、日中活動を再開することができました。(9月：リモートでの敬老行事を開催)

敬老祝賀会で西脇知事からのお祝いコメントを聞く様子

また、昨年度に引き続き、安心・安全な利用者支援と職員の負担軽減を目的に、介護度の高い利用者の介助場面で使用するアシストスーツの導入試行や、職員間での情報共有を行うインカム、音声で記録を行えるシステムを令和5年度に本格導入できるよう準備を進めました。

さらに、地域にお住まいの高齢者に関する虐待被害等緊急課題への相談を受け、シェルター及び一時保護機関として緊急入所（2名）に対応しました。

近隣を散歩した様子

主な取組み

ステイホームでも楽しめるよう日中活動を充実

◆コロナ禍において、外出機会が減りましたが、寮内で季節の飾り物やフラワーアレンジメント等の作品づくりや、介護予防体操を行うなどで日中活動の充実に努めました。また、寮内食事会では事前に伺った好みのメニューの食事を召し上がっていただき、普段とは違った雰囲気を楽しんでいただくことができました。

精神科病院との連携強化

◆予定していた精神科病院相談員との研修会は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催に至りませんでしたが、退院後に当施設に入所される場合や、認知症等で当施設から入院する場合のスムーズな対応に向けての情報や課題の共有は行うことができました。(精神科病院から1名受入れ)

新たな介護機器等導入の推進

◆昨年度に引き続き、安心安全な介護や職員の負担軽減を目指し、「介護機器・IT機器等導入検討チーム」が中心となって、複数のアシストスーツを試行しました。
また、音声入力で支援記録の入力が可能なシステムについて、まずは全棟にWi-Fiを整備して環境を整え、その後、操作研修や試行運用を行い、４月からの全面切り替えに備えました。加えて、転倒リスクのある利用者の見守り機器として、手すり装着型のセンサーを２名の利用者に使用するなど、状況に応じた介護機器の活用に取り組みました。

嚥下機能低下に対応した食事の提供

◆嚥下機能低下に対応するため、今年度も引き続き「食事形態検討委員会」にて、全利用者の適切な食事形態を検討し、個々の嚥下能力に応じた食事提供に努めました。（パン食は引き続き週３回の提供）
◆柔らかくムース状に調理した「ソフト食」の導入に向けては、機器の購入など環境は整えたものの、試食やメニューの検討を含めた職員への研修を開催するところまでとなり、引き続き、次年度への継続課題としました。
◆また、消防署から講師を招き「急変時の対応」をテーマにして喉詰め時の救急対応方法やAED操作等の実技を学び、職員の意識向上につなげました。

「京都府感染対策チーム」の指導による感染症対策の徹底

◆新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めましたが、５月、７月、１月に洛南寮内でクラスターが発生しました。一度に30~40名程度が罹患した時もありましたが、「京都府感染対策チーム」の指導により、ゾーニングやガウンテクニック等を改めて学び、法人内他施設からの応援も得て、幸いにも重症化には至らず、それぞれに１か月程度の期間での収束につなげることができました。収束後は、利用者の心身の健康に配慮して段階的に外出制限を解き、日中活動も再開して、日常を取り戻しました。

利用者数の確保に向けた情報発信の強化

◆新たな入所は８名ありましたが、長期入院等で退所される方も13名となり、年度末時点では前年度を下回る利用者数となりました。（年度末時点：71名/定員100名）減少要因は複数ありますが、まずは施設機能の理解促進が必要と考え、高齢福祉のケースワーカー対象の研修（テーマ「養護老人ホームの機能と財源の仕組み」）を開催することや、SNSやホームページでの情報発信、また新たに全国の学生が参加可能な「福祉留学」の提携施設となり、福祉に関心のある学生の受入れを開始しました。
◆入所者のうち、介護を要する方については、施設内の一般型特定施設入居者生活介護の契約を結び（年度末時点：18名）、介護保険サービスに基づく支援や機能訓練などを行いました。

（2）救護施設

1年間の総括

施設内就労：清掃作業の様子

救護施設として、生活困窮をはじめ様々な生活上の課題を抱え、総合的な支援を必要とする利用者を受け入れ、一人ひとりの人権を尊重し、心身ともに健康で安心できる暮らしと地域社会での自立に向けた支援や訓練を行いました。

新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し（5月・7月・1月)、その期間は、行事や日中活動、外出を全面ストップせざるを得ませんでしたが、随時、「京都府感染対策チーム」の指導を受けながら感染症対策を徹底し、外出、日中活動を再開することができました。

また、救護施設には「循環型セーフティネット機能」の発揮が期待されることから、３つの段階で地域移行を目指す「洛南寮式自立支援プログラム」（ホップ：「施設内就労訓練」、ステップ：「生活訓練」、ジャンプ「居宅生活訓練事業」）を引き続き推進し、今年度は１名の方が家族のもとに帰られました。入所中に、高齢になられて介護支援が必要となった１名の方は、安心安全な環境のもとで必要な支援を行えるように、隣接の養護老人ホームへの移行につなげました。今後とも、隣接の強みを活かし、必要な支援が行えるよう施設内で連携していきます。

DVや虐待被害を受け緊急保護を要する方に対しては、行政機関と連携して、一時入所事業で受け入れて、安心・安全な環境の中でのサポートに取り組みました。

主な取組み

「洛南寮式自立支援プログラム」での地域移行を推進

ホップ　～施設内就労訓練の実施～

◆紙すき製品の制作・販売及び施設内喫茶での給仕などの日中活動に加えて、食事の配膳・下膳や清掃、草刈り、野外作業等を施設内就労訓練として工賃を支給し、働くことへの動機づけや意欲の醸成につなげました。（参加実人数 30 名：延べ人数 41 名）

ステップ　～SSTを取り入れた生活訓練への参加～

◆次の段階では施設内での自立を目指したい方々は「生活充実グループ」に、より地域移行への意欲が高い方々は「自立グループ」に参加いただき、健康管理やお金の使い方、適切な対人関係、外出時の注意点等、グループに応じた様々なテーマで勉強会を行いました。自立グループでは、次の「居宅生活訓練事業」へ進むメンバー育成を目指すため、SST（ソーシャルスキル・トレーニング）を取り入れたグループディスカッションを行い、対人関係やストレス対処・問題解決等のスキルを学んでいただきました。
（参加実人数 36 名（自立 10 名充実 26 名）：延べ人数 142 名）

ジャンプ　～居宅生活訓練事業　近隣マンションで自立生活を体験～

◆さらに第三段階として、近隣の賃貸マンション２室を借りて、昨年度に引き続き２名の利用者に、より地域での暮らしに近い環境での生活を体験し、地域移行につなげる居宅生活訓練事業を実施しました。職員は、見守りとして１日３回程度訪問し、金銭管理や調理等への支援を行いました。

精神科病院との連携強化

◆退院後に当施設に入所される場合や、当施設から入院する場合のスムーズな対応に向け連携の強化に努めました。（精神科病院から６名受入れ）

「京都府感染対策チーム」の指導による感染症対策の徹底

◆新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めましたが、５月、７月、１月に洛南寮内でクラスターが発生しました。一度に30~40名程度が罹患した時もありましたが、「京都府感染対策チーム」の指導により、ゾーニングやガウンテクニック等を改めて学び、法人内他施設からの応援も得て、幸いにも重症化には至らず、それぞれに１か月程度の期間での収束につなげることができました。収束後は、利用者の心身の健康に配慮して段階的に外出制限を解き、日中活動も再開して、日常を取り戻しました。

京都府内におけるセーフティネットとしての役割を果たす

◆病院を退院後、住む場所のない高齢者が入所するケースが増加しており、今年度は15名の入所があり、前年度を上回る95%の入所率となりました。（年度末時点入所者数：95名/定員100名）
京都府内唯一の救護施設として、安心・安全な環境のもと、生活困窮者への支援、地域移行の推進等の役割を果たすよう努め、加えて施設の機能を広く多くの方々に知っていただけるように、SNSやホームページでの発信や、今年度は新たに洛南寮として全国の学生が社会福祉施設の業務を体験する「福祉留学」の提携先となるなど、福祉の理解促進についても取り組みました。

「福祉留学」の提携施設としてサイトで紹介：動画あり

東山母子生活支援施設

１年間の総括

DV被害や虐待など身体的、精神的に様々な課題を抱えて入所された母子に対して、社会的養護を担う施設として安心・安全な生活環境を提供するとともに、地域社会で母子が自立した生活ができるよう、母子の自主性を尊重しながら、児童の健全な成長発達と母親の生活、養育、就労を支援しました。

今年度は、従来以上に入所希望が増加したことから、通年で定員世帯に近い状況が続き、多くの母子への支援につなげることができました。中には、若年・未婚の母の入所希望もあり、積極的に受け入れて乳児への育児支援も行い、時代のニーズに沿った対応を行えました。

地域生活への移行に当たっては、就労の場の確保が重要なことから、就職支援機関への同行及び連携に加え、心理療法担当職員による母子への心理ケアなどきめ細やかな支援に取り組んだことで、４世帯が退所し地域生活をスタートしました。さらに退所者とのコミュニケーション手段としてLINEアプリを活用し、アフターケアの充実を図りました。

主な取組み

日常の暮らしから就労まで、手厚い支援で母親の自立をサポート

～安心安全な日常生活をサポート～

◆子の保育や保育所への送迎等の子育て支援、通院等の際の同行支援、居室の整理・整頓や買物代行等の家事支援等個々の状況やニーズに応じた支援を随時行いました。また、育児に不安のある若年母への支援としてモーニングコールや沐浴などの居宅内家事支援を行いました。新型コロナウイルス感染症の罹患世帯に対しては、買い物支援や薬の受取などの家事支援も行いました。措置機関をはじめ、福祉事務所や児童相談所、保育所、学校、病院等と連携を図り、母子への包括的な支援を行いました。（子育て支援177回、同行支援77件、家事支援441件）

～母子の心理的ケアの充実～

◆DV被害者の母及び被虐待児の心の安定を図るため、心理担当職員による面談で心理ケアの充実を図りました。（母子28名、延べ402回）また、退所者に対しても、LINEを活用し、行事参加への呼び掛けや物品提供の案内等、連絡頻度を増やし、地域生活へのサポートに務めました。

退所者へ直接手渡す場は、
退所後の暮らしぶりを伺える貴重な機会

～就職支援機関と連携し母親の就労を支援～

◆「京都府ひとり親家庭自立支援センター」や障害者地域生活支援センター等就職支援機関と連携し母親の就労を支援、４名が自ら相談へ出向くなどされました。（就労支援24件）

グループ活動等を通じて児童の成長と発達を支援

◆コロナ禍において、中止していたグループ活動も、感染防止対策を講じながら再開しました。
(学童戸外行事：3回、延べ21名)
(中高生支援　：6回、延べ14名)
また、長年訪問いただいていた大学生ボランティアによる学童交流や学習支援についても、オンラインから対面での活動に移行させました。
(学童交流41回、学習支援12回、延べ143名)

◆小1～小6の児童に対しては、学童保育「ドリームクラブ」を実施し、遊びや学習などの活動を通して児童の成長を支援しました。(244日、延べ1,452名参加)

「かるがもクラブ」等の活動により母子関係の構築を支援

◆親子で参加する「かるがもクラブ」では、更なる母子関係の構築や母子の心の安定を目指し、「東山ファミリーホームパーティー」やお餅つき、カフェ等を実施しました。(6回、延べ107名参加)

◆乳幼児の母親を対象とした「ひよこクラブ」では、水無月や巻き寿司等の調理をメインに実施しました。創作を楽しみながら、子育てに関する日頃の悩みや子どもの成長への喜びなどを母親と共有しました。(10回、延べ15名参加)

子どもを守るための地域ネットワークへの参画

◆開晴館小中学校との連絡会を継続し、入所児童、退所児童の支援充実に向け情報共有を行いました。(6回)
また児童相談所、実施機関、関係機関と連携しケースカンファレンスを行うなど連携を密にして支援を行いました。

社会的養護の役割を担う施設としての役割を果たす

◆今年度は、9世帯の入所と4世帯の退所があり、一時的に緊急一時保護用の1室を除いた19世帯が入所となり満床になった時期もありました。加えて、若年・未婚の母親の受入れや乳幼児への支援も積極的に行い、社会的養護を担う施設として広くニーズに応えるよう努めました。
(R4年度末在籍17世帯／R3年度末在籍：12世帯)
施設のPRとしても、京都府内全福祉事務所および北陸・東海・山陰・山陽・四国の配偶者暴力相談支援センターへのパンフレット送付や、SNSでの情報発信（計48回）を継続実施しました。

視力障害者福祉センター

１年間の総括

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師（以下「あはき師」）養成施設として、コロナ禍においても利用者の学びが途絶えることがないように、国家試験を控えた３年生に対してはオンラインでの授業を実施し、また、希望生徒に対するワクチン接種も協力医療機関の連携により行う等、安心して勉学に取り組める環境づくりに努めた結果、国家資格を取得した卒業生全員を就労につなげることができました。

また、あん摩やはり施術の臨床実習や無償あん摩奉仕のイベント、健康講座等を開催するとともに、左京区社会福祉協議会主催の左京区福祉大会への参加等、地域での活動も積極的に行い、地域福祉への貢献のみならず、より多くの方々に対し施設のPRに取り組みました。

主な取組み

国家資格の取得・就労をスタッフ総力で支援

◆模擬試験（４回/年間）や補習授業（76時間）等で学習を支援することで、利用者の国家資格取得につなげました。特に、国家試験を控えた３年生に対しては、感染予防対策として通学に不安を抱く場合、自宅でも受講できるようオンライン授業を行いました。
（10日間、46時間）

【受験結果】

・あん摩マッサージ指圧師
　合格者　６名（あん摩科：３名、はり科：３名）/合格率　85.7%
・はり師
　合格者　３名（はり科：３名）/合格率　75%
・きゅう師
　合格者　３名（はり科：３名）/合格率　75%

◆卒業後の就労支援については、京都職業相談室と連携し、あん摩科３名の内、１名が出張業務による開業を、１名が訪問マッサージ事業所、１名が治療院等のスタッフとして就職しました。また、はり科３名については、１名が施術所開設による開業を、２名がデイサービス事業所のスタッフとして就職しました。

あん摩奉仕や健康講座等で地域住民の健康増進に貢献

◆地域住民の健康増進とあはき師養成カリキュラムの臨床実習を兼ねて、感染防止対策を講じながら、あん摩やはり・きゅう施術を実施しました。
（あん摩臨床実習：156 回/年間・626 名施術、はり・きゅう臨床実習：54 回/年間・198 名施術）

あん摩奉仕のイベントの様子

◆地域住民を対象とした、あん摩施術の無償提供のイベントも、感染防止対策を講じ、今年度も開催しました。（11 月 4 日開催　参加人数 53 名）
加えて、地域の方々の健康増進につなげられるよう「加齢に伴う、目や耳のおとろえに対するツボ療法」をテーマに健康講座を開催し、ツボの活用法について紹介しました。（11 月 30 日開催　参加者 4 名）

明治国際医療大学との連携による最新医学の習得

◆教員が、最新医学に関する知識・技術を習得できるように、明治国際医療大学と連携した研修会を開催しました。「美容鍼灸における研究の最新知見」をテーマに、美容鍼灸に関する基本的な知識、美容鍼灸における課題やこれからの展望等について学びました。
（12 月 2 日開催　参加者 12 名）

明治国際医療大学講師による研修の様子

体験見学会の開催等で利用者確保に努めるも減少傾向が継続

◆体験見学会について昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大のため年間 1 回開催でしたが、今年度は感染対策を講じながら夏・秋 2 回開催しました。見学会では利用希望者に対して、施設概要説明、施設見学、あん摩・はりの実習体験や学習支援機器のデモンストレーション、個別相談等行いました。（夏の見学会 7 月 30 日開催　参加者 7 名　秋の見学会 10 月 24 日開催　参加者 7 名）
また、京都府内の相談支援事業所　（332 箇所）に対し、視覚障害者の福祉サービスの利用状況についての調査を行い、ニーズの掘り起こしに取り組みました。（調査期間：6 月～9 月）

夏の体験見学会の様子

その結果、令和 5 年 4 月からの新規入所者としては、あん摩科 1 名、はり科 5 名、聴講生としてはり科 1 名の計 7 名を迎え入れることとなりました。（利用者計 17 名、前年比 94%）
入所者数の減少傾向をふまえ、現状分析や課題の抽出等を行いながら、施設の機能の見直しや新たなニーズへの対応の検討などを進めています。

桃山学園

（1）障害児入所施設

1年間の総括

昨年、5月に新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したことから、ゾーニングをはじめ施設内の感染拡大防止対策を講じて、収束につなげました。その後、8月にも感染者が出たものの大きく拡大することはありませんでした。児童にとって楽しみである行事や外出の自粛をせざるを得ませんでしたが、11月には、3年ぶりに「第61回桃山学園祭」（一部入場制限あり）を開催し、保護者や児童相談所、学校等関係者に来場いただき、さまざまな発表や交流で、児童にとって思い出に残る時間を過ごすことができました。

前年度から導入に向けて進めてきた「小規模グループケア」について、今年度は、6月から第一段階として女児の生活フロア（はなフロア）においてスタートさせました。フロア内で調理する際には、炊飯の臭いや食事準備の音で目を覚ますなど、家庭的な雰囲気を感じることにつながりましたし、誕生会や外出行事なども全体ではなくフロアメンバーで行う事から、家族としての一体感が見られたように感じました。引き続き、来年度は男児の生活フロアでも開始する予定です。

また、骨肉腫後の転移で長期入院した児童との別れ（死去）という悲しい出来事を体験した児童・職員一同への心理的なサポートが必要な1年でもありました。幼い頃から生活してきた障害児入所施設での生活を強く望んだ本人の意向を叶えるため、施設内での投薬や訪問看護、入院付き添いなど、家族、児童相談所、京都府、福祉事務所とも連携した支援体制を構築し、別れの間際まで支えることができたことは、施設にとっても意義のあることだったと考えています。

平成27年度に当園で発生した虐待事案を知らない職員も増える中、事案を風化させることなく、改めて人権養護、虐待防止の意識を高めることを目的にした研修（「桃山学園人権擁護研修会」 講師:日本知的障害者福祉協会　人権・倫理委員長）を3年という長期スパンで企画しスタートさせました。

主な取組み

支援スキル向上の取組みの継続

◆自閉症の専門家など外部アドバイザーにケースカンファレンスにおいて、動画等で児童の状況観察の上、専門的な視点からのアドバイスをいただきました（8回/年　16ケース）。
その中で、PECS（絵カード交換式コミュニケーションシステム）やトークン（代用貨幣）の使用、スケジュール提示方法（イラスト、写真、文字、時間帯等）の工夫、コミュニケーション・スキル・チェックリストの使用によるアセスメントなど、児童に適したツールや対応を検討しながら実践しました。
また、それぞれのフロアごとにミーティングを行い（1回/月）、児童の課題の共有や、フロアでの過ごし方についての検討等、支援の標準化に努めました。

ＰＥＣＳ
（絵カード交換式
コミュニケーションシステム）

小規模グループケアの一部導入

◆児童をグループ化し、食事や入浴場面等のスペースや活動を小規模化することで、家庭的な雰囲気の中で個人の要望の反映や障害特性に応じた、安全で安定した生活をめざす「小規模グループ化」を２年計画で導入していくこととしました。
今年度は第一段階として、設備環境上、実施可能と自治体から認定いただいた、女児の生活フロア（はなフロア）への導入からスタートさせました。
特に、食事において、児童の自主性を尊重し、献立の相談や調理へのチャレンジなど始めたことは、大きな変化でした。朝には、炊飯のにおいを感じたり、調理する生活音で目覚めたりと従来の生活にはない感覚を体感したようです。

はなフロアでの食事準備の様子

引き続き、次年度からは男児の生活フロアにおいて、導入できるように、高齢者施設でのユニットケア等類似のケアを実践している事例を参考にして、準備を行いました。（令和５年10月～残る２エリアにも導入予定）

入所児童の心理的ケア等を充実

◆被虐待児や愛着に課題のある児童に対し、職員が個別面接を行い、心理的ケアについても取り組むことができるよう、精神科医による研修を実施したほか専門機関が実施する「虐待を受けた子どものこころの研修」に職員を派遣しました。
また、強度行動障害支援従事者や児童発達管理責任者等の資格取得の推進など職員の専門性の向上を図りました。

児童の人権や権利擁護についての研修を実施

◆今年度新たに、人権養護、虐待防止の意識を高めることを目的にした研修（「桃山学園人権擁護研修会」　講師:日本知的障害者福祉協会　人権・倫理委員長）を開催しました（4回/年）。講義やグループワークを通してリスクマネジメントの重要性や、虐待についての知識、意見交換を行い、改めて意識醸成に努めました。
本研修は、3年スパンでの企画で開始したため、引き続き、令和5年度・6年度も開催予定です。

研修でのグループ討議の様子

新規受け入れ児童３名、退園児童３名で前年度並みの利用状況

◆自治体からの措置入所と家族との契約による入所とで新規に３名を受け入れた一方、家庭復帰等で３名の児童が地域生活に移行しました。（年度末在籍児童数：23名）

（２）児童養護施設

１年間の総括

前年度末に新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した中で新年度を迎え、続く７月、８月、９月にも感染が広がる事態となりました。その期間は、行事や外出を自粛せざるを得ませんでしたが、幸いにも症状は軽く、その後、感染は広がりませんでした。１１月には、３年ぶりに「第６１回桃山学園祭」（一部入場制限あり）を開催し、保護者や児童相談所、学校等関係者に来場いただき、さまざまな発表や交流で、児童にとって思い出に残る時間を過ごすことができました。

近年においては、入所児童の早期家庭復帰や里親委託等の推進が求められている中、親子関係の再構築や、児童の自立支援及び健全育成を課題として取り組みました。特に、前年度から開始した「あたり前の生活体験事業」（施設内の個室で、兄弟や担当職員のみで行う体験宿泊事業）では、８名の児童が家庭生活を疑似体験しました。

また、職員の資質向上に向けた取組みとして、隣接の障害児入所施設と連携し、人権擁護、虐待防止についての研修（「桃山学園人権擁護研修会」　講師：日本知的障害者福祉協会　人権・倫理委員長）を、３年という長期スパンで企画し、スタートしました。

主な取組み

より小集団で、より個別的な関わりを子ども達に

◆家族との生活について経験や記憶が乏しい児童や、退園して自立する時期が近づいている児童を対象に、施設内の日常生活エリアから離れた場所で、職員と宿泊してプレ家庭生活を体験する「あたり前の生活体験事業」の２年目となりました。

今年度は、小学生から高校生までの幅広い児童８名を対象に、５つのグループで体験しました。小集団の中で個別に関わることで、集団生活では見ることの出来ない表情も垣間見え、職員との関係性も深まり、退園後の自立に向けた思い等を確認することができました。次年度以降は、施設外での実施に向けて、宿泊場所の確保等進めていきたいと考えています。

一人ひとりに寄り添った支援を～週末里親制度の活用～

◆様々な家庭事情から社会的養護の枠組みの中で暮らす児童に対して、施設養護から家庭養護へといった法制度の流れも踏まえ、施設養護では得られない体験が必要な児童については、児童相談所と連携して「週末里親制度」の活用も推進しています。
施設内で行う「あたり前の生活体験事業」よりも、さらに家庭生活に近づく「週末里親制度」を一つの選択肢として活用を検討した結果、１姉妹を対象とすることになりました。最初は、緊張の面持ちでスタートしましたが、児童達の表情の変化や次の宿泊日を待ち遠しく感じる様子が見られるようになりました。
当然のことながら、児童によって必要な支援は異なるため、さまざまな方法や社会資源を活用しながら、今後も一人ひとりに寄り添った最善の支援の提供に努めていきます。

支援力の向上を目指して（関係機関との連携）

◆従来からの児童の健全育成や自立を目指した取組み、関係機関との連携、卒園後のアフターケア等に加えて、障害のある児童への専門的な関わりが必要な場面が増えてきたことから、法人内の発達障害者支援センターの協力を得て職員対象の勉強会を継続開催しました。（６回/年　全員参加）特に、具体事例を題材にした内容に対する職員の関心度が高く、熱心に質疑応答を交わす場面もありました。
また、措置機関との連携により開催した、「困難事例サポート事業」においても、措置機関と情報共有し、講師の方からスーパーバイズを受けることで、支援の方向性を確認し合い学びを深めることができました。

企業との連携で職業体験を～児童にとっての自己実現のために

◆例年に引き続き、京都中小企業家同友会のご協力により、夏・春の長期学校休業期間に、企業での職業体験実習に参加させていただきました。働くことへの意識の醸成はもちろんのこと、職員以外の大人との交流や実習後の体験発表等で、成長につながる貴重な体験の機会を得ることができました。

定員に近い入所児童数を推移するとともに 地域の子育て世帯を支援

◆児童相談所と連携しながら、支援を必要とする児童を迅速に受け入れ、今年度も入所児童数は、年間通じて定員である 30 名近くを推移しました。（年間平均在籍数：26.5 名）
◆加えて、13 市町と子育て支援短期利用事業の契約を締結し、緊急時対応やレスパイト目的等の短期入所利用を受入れ、地域の子育て支援に努めました。（年間延べ 16 名 40 日）

こども発達支援センター

１年間の総括

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努め、利用者の協力もいただきながらの施設運営となりました。

診療部門では、精神科医師の増員、電子カルテを活用した予約管理等の効率化や情報の共有等で診療数が増え、前年度を上回る診療実績となりました。しかし、初診予約の待機期間については、医師を増員した精神科は短縮したものの、診療希望者数の増加が実績を上回る小児科では短縮にはつながりませんでした。こうしたニーズの増加に対して、京都府とともに「発達障害児支援医療・保健・福祉・教育等連携強化事業」として、地域医療体制の構築や教育機関との連携を図る取組みを開始しました。

通園部門（児童発達支援）では、家庭と連携した療育をめざし、児童の発達状況や年齢等を考慮し、とりまく家庭環境への配慮も行いながら、一人ひとりに応じた登園頻度を検討し、療育を受けていただけるようにしました。また、就学前後の年長児への支援も引き続き行い、利用児及び地域のニーズに応じた支援に努めました。

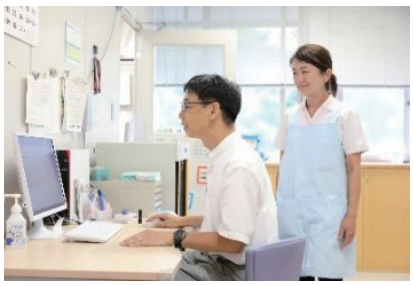
通所部門（放課後等デイサービス）では、引き続きSST（ソーシャルスキル・トレーニング）を導入した支援や公認心理師によるアセスメントの実施等、専門性の高い支援に努めました。

地域支援部門では、保育所等訪問支援事業による学校や保育所等への訪問支援により、対象児が集団場面で安心して生活や活動に取り組めるよう関係機関との協働支援や、後方支援に努めました。また、障害児相談支援事業については、地域生活に関するご家庭の不安感や課題等を解消できるよう、丁寧な聞き取りを行うとともに地域の療育施設への同行訪問や相談支援事業所等への情報提供を行いました。

主な取組み

初診待機児への抜本的な対応に向けて

◆診療希望者は年々増加傾向にあり、当施設への初診予約状況の待機期間も長期化していることから、その解消には稼働率を上げる以上の抜本的な対応が必要と考え、京都府の「発達障害児支援医療・保健・福祉・教育等連携強化事業」により、医師の増員、専門医の育成を実施するとともに地域医療体制の構築や教育機関等との連携を図るとともに、新たに学齢児の情報提供書、問診票の作成に取り組みました。



通園児保護者のニーズへの対応や就学前後の年長児支援の充実

◆就労しながら週２回の療育を希望された７ケースを受け入れるなど、保護者ニーズを踏まえ、日常通して利用児に必要な支援をつなげていく療育を実施しました。

◆集団での過ごしにくさ等のある年長児を対象とした並行通園クラスの受け入れを拡充し、２クラス 11 名に対して保育を行いました。就学にむけて必要となる力や他者との関わり等を客観的に捉えてもらうことや、関わり方へのアドバイス等行い、一人ひとりの持っている力が発揮しやすく過ごしやすい就学先の決定につなげました。
また、就学後についても、就学先との情報共有等のフォローを丁寧に実施しました。

放課後等デイサービスで心理アセスメント等実施

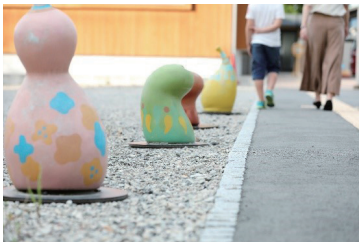
◆心理援助を必要とする児童に対して、公認心理師による面談や検査（WISC ３名）を行い、児童の得意不得意をアセスメント（分析）に反映し、対処方法を本人とともに考えることや、学校等への情報提供により連携した支援の充実に取り組みました。

◆発達障害者支援センターとの保護者支援学習会（2回/年）の開催、同センターが開催する研修会に職員がスタッフとして加わる等、施設間連携を行い保護者支援の充実に努めました。

障害「児」から障害「者」への切れ目のない支援をめざして

◆当センターでの支援が終了となる 18 歳以降も切れ目なく必要な支援が継続されることをめざして、法人内の心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院との連携についての検討を継続して行いました。
また、法人内の実践・研究発表会にてこれまでの取り組みを共同で発表しました。

利用者数：「診療部門」は増、「通園部門」の医療型・重心の減少



◆診療部門については、精神科医師の増員、電子カルテを活用した外来診療予約の効率化や情報の共有化等で、前年度比の利用実績は増えました。（年間外来患者数 16,594 名 / 前年度比伸び率 1.06%）

◆新型コロナウイルス感染症の影響から、通園部門の福祉型・医療型・重心共に目標数値には届きませんでした。特に医療型・重心については、在籍人数が伸び悩み、定員の充足としては不十分な結果となりました。定員の充足に向けて事業内容の周知発信を強化します。

発達障害者支援センター

１年間の総括

京都府内における発達障害相談支援体制の強化を目指し、京都府内６か所の圏域支援センターと連携し、府内全域の発達障害児・者支援状況を把握するとともに、より良い支援をめざし圏域のニーズをを踏まえた事業につなげられるよう検討する場として圏域交流会を開催しました。また、発達障害に関する府民への普及・啓発を目指す府民公開講演会や、医療職の発達障害に関する理解を深める発達障害に専門職研修を、オンラインで開催しました。

また、対人関係のコツを練習し、日常生活に活かすプログラムであるSST（ソーシャルスキル・トレーニング）の研修会を放課後等デイサービス事業所から依頼を受けて実施し、ダンスプログラム等を通したSSTの実践をサポートしました。

「こども相談室」においては、本人・保護者の相談支援を行い、必要に応じて担当主治医との連携、教員とのケース会議を実施しました。さらに、思春期にある発達障害児の保護者を対象としたペアレント・トレーニングや、保護者の集いの場「ほっこりタイム」を開催する等保護者支援に取り組みました。

京都ジョブパーク内の「ゆっくり相談コーナー」では、就労の難しい求職者に対して個別相談への対応を行うほか、キャリアカウンセラーへのスーパーバイズを行いました。

主な取組み

圏域支援センターへの巡回や医療・教育機関との連携強化

◆京都府内における発達障害相談支援体制の強化を目指し、圏域支援センターに対する巡回を実施し、ケース相談に対する助言や、地域支援マネジャー導入に向けた課題を整理しました（６圏域それぞれ３回/年）。
また、京都府南部３圏域（乙訓・山城北・山城南）で交流会を開催し、圏域課題の共有と事業の検討を行いました。
さらに、発達障害児支援医療・保健・福祉・教育等連携強化事業に参画し、発達障害児に対する支援体制の検討を医療・保健・福祉・教育機関とともに行いました。

ペアレント・メンターへの支援を推進

◆ペアレント・メンター（自らも発達障害のある子育てを経験し、かつ相談支援に関する一定のトレーニングを受けた親）派遣事業として、地域の保護者支援の場へのメンター派遣（４回/年）や、メンターフォローアップ研修及び交流会（１回/年）などを実施しました。
また、メンター同士の交流新聞「フルーツバスケット」を発行し、メンター活動の普及を目的に教育・福祉・保健・市町村窓口（子育て支援・障害福祉）等へ配布しました（３回/年）。

ペアレント・メンターの活動に
関する情報を掲載した新聞を発行

大学の「学生相談室（障害学生支援室）」との連携推進

◆大学の「学生相談室（障害学生支援室）」を訪問（４か所）し、相談しやすいシステム構築に向けて、発達障害者支援センターの機能やネットワークを紹介するなど、担当者との情報交換を行いました。

大学・大学院との連携による専門性の向上

◆京都大学大学院から、府民公開講演会の講師として府民への発達障害に関する普及・啓発にご協力いただきました。また、京都大学課題解決型高度医療人材プログラム（ＡＳＤプロジェクト）のシンポジウム（「成人期の発達症支援～地域における支援体制の再確認と今後のあり方について考える～」）に参画し、「京都府における発達障害者支援～ケースを通した地域連携の取り組み～」について発表しました。

京都教育大学からはSST（ソーシャルスキル・トレーニング）等に関して、また佛教大学からは保護者へのペアレント・トレーニングについてそれぞれスーパーバイズを受けました。

発達障害に係る相談支援の実施

・相談人数（実支援数）　376 名
　（うち　こども相談室への相談　99 名）
・相談件数（延べ支援数）　1,823 件
　（うち　こども相談室への相談　703 件）

関連資料

管理運営施設の概要 31

職員状況 33

社会福祉法人京都府社会福祉事業団役員名簿 34

理事会・評議員会開催状況 35

職員研修実績 36

各施設外部派遣研修参加実績 37

各施設実習生受入実績 38

利用満足度アンケート調査結果について 39

苦情対応状況 51

ヒヤリハット・事故集計状況 53

各施設関連資料

(1) 本部事務局 54

(2) 心身障害者福祉センター 57

(3) 洛南寮 65

(4) 東山母子生活支援施設 69

(5) 視力障害者福祉センター 72

(6) 桃山学園 75

(7) こども発達支援センター 80

(8) 発達障害者支援センター 85

管理運営施設の概要

(1) 指定管理施設

施設名称	所在地	施設種別及び事業内容	定員	受託年月日	設立年月日
京都府立心身障害者福祉センター （所長：久保　俊一）	城陽市中芦原	障害者支援施設 ・生活介護 ・自立訓練(生活訓練) ・施設入所支援 ・短期入所（空床型） ・一般・特定相談支援事業 体育館 附属リハビリテーション病院	50名 50名 10名 50名 1名 － 病床数25床	昭和52年8月2日 昭和58年11月1日	昭和53年4月1日 昭和58年11月1日 昭和57年4月1日
京都府立洛南寮 （寮長：則枝　勝也）	京田辺市大住仲ノ谷14－1	養護老人ホーム ・一般型特定施設入居者生活介護事業 救護施設	100名 （30名） 100名	昭和57年8月1日	昭和22年2月28日
京都府立東山母子生活支援施設 （施設長：岡本　稔子）	京都市東山区清水四丁目185－1 （京都府立家庭支援総合センター内）	母子生活支援施設	20世帯	昭和58年4月1日	昭和22年1月15日
京都府立視力障害者福祉センター （所長：松本　勅）	京都市左京区下鴨森本町21	障害者支援施設 ・就労移行支援（養成施設） ・施設入所支援 ・特定相談支援事業	60名 60名 40名	昭和58年11月1日	昭和23年7月1日
京都府立桃山学園 （園長：岩本　俊也）	京都市伏見区桃山町遠山50	障害児入所施設 ・福祉型障害児入所施設 ・短期入所 ・日中一時支援事業 ・生活介護 ・施設入所支援 ・一般・特定相談支援事業 児童養護施設	30名 30名 3名 30名 (短期利用事業含む)	昭和59年4月1日	昭和23年10月31日 昭和29年4月1日
京都府立こども発達支援センター （所長：平井　清）	京田辺市田辺茂ヶ谷186－1	児童発達支援センター ・福祉型児童発達支援 ・医療型児童発達支援 ・児童発達支援事業（重症心身障害児） ・保育所等訪問支援 ・放課後等デイサービス ・障害児相談支援 ・居宅訪問型児童発達支援	 30名 30名 1日5名 － 1日10名 － －	平成15年8月1日	平成15年10月1日

※　平成18年6月1日より全施設の管理代行者として、管理・運営を行う。

(2)　受託事業実施施設

施設名称	所在地	施設種別	定員	受託年月日	設立年月日
京都府発達障害者支援センター （センター長：渡邊　由佳）	京都市伏見区竹田流池町120 （京都府精神保健福祉総合センター内）	－	－	平成19年4月1日	平成19年10月29日
こども相談室 （室長：渡邊　由佳）	京田辺市田辺茂ヶ谷186－1 （こども発達支援センター内）	－	－	平成30年10月1日	平成30年10月1日

令和5年3月31日現在

管理財産等の内容

(1)　指定管理施設

施設の名称	土地	建物	
		建物延べ面積	専有面積
京都府立心身障害者福祉センター	56,151.61㎡	11,059.87㎡	－
京都府立洛南寮	11,295.00㎡	6,316.84㎡	－
京都府立東山母子生活支援施設	－	－	1,305.63㎡
京都府立視力障害者福祉センター	3,888.12㎡	3,664.99㎡	－
京都府立桃山学園	12,709.27㎡	4,134.39㎡	－
京都府立こども発達支援センター	9,577.67㎡	2,077.63㎡	－

職員状況

（ア）職員数　　（単位：名）

区分 施設名	常勤職員					小計	非常勤職員		小計	合計
	総合・地域	再雇用	府OB	府派遣	フルタイム嘱託職員		再雇用	嘱託職員		
本部事務局	6	2	1		4	13	0.090		0.090	13.090
心身障害者福祉センター	31	3	2		6	42		4.600	4.600	46.600
附属リハビリテーション病院	28	4	1	1		34		7.485	7.485	41.485
洛南寮	37	1	1		8	47		6.234	6.234	53.234
東山母子生活支援施設	6				2	8		1.517	1.517	9.517
視力障害者福祉センター	13				2	15		2.140	2.140	17.140
桃山学園	25	1	1		7	34		1.485	1.485	35.485
こども発達支援センター	37	1	1	1	14	54		5.477	5.477	59.477
発達障害者支援センター	5				1	6		0.800	0.800	6.800
合計	188	12	7	2	44	253	0.09	29.738	29.828	282.828

※令和5年3月31日現在

※非常勤職員は、常勤（週40時間)換算

※理事長、常務理事は含めない。

※附属リハビリテーション病院については、宿直医は含めない。

（イ）勤続年数別職員数（総合・地域職員）　　（単位：名）

3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	平均勤続年数	合計
27	30	43	44	15	29	12.9	188

（ウ）年齢構成別職員数（総合・地域職員）　　（単位：名）

22歳以下	23歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上	平均年齢	合計
1	34	28	61	54	10	43.0	188

社会福祉法人京都府社会福祉事業団役員名簿

令和5年3月31日現在

職　名	氏　名	備　考
理事長	中本　晴夫	
常務理事	中西　正和	
理事	磯　彰格	(福)南山城学園理事長
〃	岩本　俊也	(福)京都府社会福祉事業団京都府立桃山学園長
〃	北川　靖	京都府医師会副会長
〃	久保　俊一	京都府立医科大学特任教授
〃	中井　敏宏	(福)京都府社会福祉協議会常務理事
監事	大槻　明司	京都府民間社会福祉施設職員共済会常務理事
〃	和田　司	公認会計士
評議員	有賀　やよい	精神科医
〃	岩井　光男	(福)京都育成の会理事長
〃	空閑　浩人	同志社大学大学院社会学研究科教授
〃	杉原　優子	元京都府介護福祉士会会長
〃	髙桑　勝	京都府老人福祉施設協議会副会長
〃	徳川　輝尚	全国身体障害者施設協議会顧問
〃	戸田　雄一郎	元京都府保健福祉部長
〃	豊田　久美子	京都府看護協会会長
〃	松井　道宣	京都府医師会会長

（各50音順に記載）

理事会・評議員会開催状況

（ア）理事会

区分	開催年月日	開催場所	出欠状況	議案
第112回理事会	令和4年5月1日（日）	京都府立総合社会福祉会館 （WEB会議）	出席理事　6名 欠席理事　1名 出席監事　2名 欠席監事　0名	第1号議案　理事長の選定 原案のとおり議決された
第113回理事会	令和4年6月8日（水）	京都府立総合社会福祉会館	出席理事　7名 欠席理事　0名 出席監事　2名 欠席監事　0名	第1号議案　令和3年度事業報告 第2号議案　令和3年度決算 第3号議案　第38回評議員会の招集 原案のとおり議決された
第114回理事会	令和4年9月20日（火）	京都府立総合社会福祉会館	出席理事　6名 欠席理事　1名 出席監事　1名 欠席監事　1名	第1号議案　就業規則等の改正 第2号議案　苦情解決第三者委員の選任 原案のとおり議決された
第115回理事会	令和4年12月20日（火）	京都府立総合社会福祉会館	出席理事　6名 欠席理事　1名 出席監事　1名 欠席監事　1名	議決事項なし
第116回理事会	令和5年3月14日（火）	京都府立総合社会福祉会館	出席理事　6名 欠席理事　1名 出席監事　2名 欠席監事　0名	第1号議案　令和4年度補正予算 第2号議案　令和5年度事業計画及び当初予算 第3号議案　定款の変更 第4号議案　組織規程等の一部改正 第5号議案　理事の選任 第6号議案　施設長の任免 第7号議案　役員等賠償責任保険契約の締結 第8号議案　第39回評議員会の招集 原案のとおり議決された

（イ）評議員会

区分	開催年月日	開催場所	出欠状況	議案
第38回評議員会	令和4年6月27日（月）	京都府立総合社会福祉会館	出席評議員　7名 欠席評議員　2名	第1号議案　令和3年度決算 原案のとおり議決された
第39回評議員会	令和5年3月27日（月）	京都府立総合社会福祉会館	出席評議員　9名 欠席評議員　0名	第1号議案　令和4年度補正予算 第2号議案　令和5年度事業計画及び当初予算 第3号議案　定款の変更 第4号議案　理事の選任 原案のとおり議決された
書面決議	令和4年4月25日（木）	―	―	第1号議案　理事の選任 原案のとおり全員の同意を得た

監事監査実施状況

区分	実施年月日	実施場所	監査事項
監事監査	令和4年6月2日（木）	京都府立総合社会福祉会館	・令和3年度の理事の業務執行について ・事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していること ・理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められないこと ・計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示していること を認められた。

職員研修実績

研修区分	研修名		実施状況	研修内容
共通研修	虐待防止研修Ⅰ		対 象 者：全職員（昨年度未受講者） 開 催 日：令和4年10月～令和5年1月 会　　場：オンライン（動画視聴型） 参加者数：24名	講師：E-care labo（イーケアラボ） 金山　峰之　氏 テーマ：身体拘束防止の基礎 ・身体拘束とは何か ・身体拘束の予防
	メンタルヘルス研修		対 象 者：全職員・役職者以上 開 催 日：令和4年10月24日～11月25日 会　　場：オンライン（動画視聴型） 参加者数：193名	講師：E care labo イーケアラボ） 佳子社会保険労務士事務所 宮沢　佳子　氏 テーマ：メンタルヘルスに関する研修 第1章　自らの心身は自らで保つ　～セルフケア～ 第2章　職場のメンタルヘルス対策　～ラインケア～
	実践・研究発表会		対 象 者：全職員 内定者 開 催 日：令和5年2月7日 会　　場：京都府総合社会福祉会館（ハートピア京都）3階　大会議室 オンライン（「ZOOM」を使用したライブ配信型）と対面型のハイブリッド方式 参加者数：37名（発表者を除く）	【発表テーマ】 1.「『笑顔の支援記録（二コリほっと）』を継続して新たに見えてきた事 ～広がりが見えてきた支援記録から利用者、職員に及ぼす影響についての考察～」 発表者：心身障害者福祉センター　支援課 生活支援員　陣田　こころ 生活支援員　島林　勝夫 生活支援員　上村　真弘 参事　生活支援員　宮崎　正樹 2.「障害者スポーツへの医科学支援の取り組み」 発表者：心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院 院長　整形外科医　徳永　大作 医長　整形外科医　今井　寛 3.「退所者のアフターケアについて」 発表者：東山母子生活支援施設 母子支援員　有末　奈津子 課長補佐　少年支援員　柳橋　励樹 4.「あたり前の生活体験事業の取り組みとその効果」 発表者：桃山学園　児童養護課 児童支援員　野村　若葉 保育士　福井　彩子 児童支援員　野間　健太 主任　保育士　岡田　妙子 5.「すてっぷセンターと附属リハ病院との連携について ～障がい「児」から障がい「者」への切れ目のない支援への取組み～」 発表者：こども発達支援センター・心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院 こども発達支援センター 診療課　理学療法士　小橋　憲侍 所長　小児神経医　平井　清 心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院 理学療法士　大野　篤
	エルダー職員 研修・座談会		対 象 者：エルダー職員 開 催 日：令和4年8月25日 会　　場：オンライン 参加者数：4名	講師：株式会社リンクアンドモチベーション エグゼクティブディレクター　樫原　洋平　氏 （研修）新人職員との関わり方について （座談会）OJT指導における悩み・困り事について エルダー制度の課題・改善点について
階層別研修	新規採用 職員研修	第1回	対 象 者：新規採用職員 開 催 日：令和4年4月1日 会　　場：京都府立総合社会福祉会館4階 「第5会議室」 参加者数：10名	講師：本部事務局　事業・企画課　次長　川端　延子 テーマ：「法人概要・中期運営計画について」 講師：本部事務局　業務総合指導役　伊藤　勝敏 テーマ：「福祉施設で働く上での心構え」 講師：本部事務局　業務総合指導役　森口　哲次 テーマ：「コンプライアンス（法令遵守）について」 講師：本部事務局　事業・企画課　次長　川端　延子 事務職員　土田　桃子 テーマ：「入職してチャレンジしてみたいこと」（グループディスカッション） 講師：本部事務局　事務職員　土田　桃子 テーマ：「人材育成（エルダー制度）について」
		第2回	対 象 者：新規採用職員 開 催 日：令和4年6月28日 令和4年7月7日 会　　場：オンライン（「ZOOM」を使用したライブ配信型） 参加者数：計12名	講師・ファシリテーター：本部事務局　次長　川端　延子 主任　久保田　真実 事務職員　土田　桃子 テーマ：オンライン施設見学ツアー オンライン座談会（入職後の状況・悩みの意見交換　等）
		第3回	フォローアップ研修 対 象 者：新任層職員 （第1回） 開 催 日：令和4年10月31日 会　　場：京都府立総合社会福祉会館4階「第5会議室」 参加者数：8名 （第2回） 開 催 日：令和4年11月7日 会　　場：こどもみらい館4階「第2研修室」 参加者数：9名	講師：本部事務局　主任　久保田　真実 テーマ：「新任層の役割・キャリアパスについて」 講師：本部事務局　業務総合指導役　森口　哲次 テーマ：「コンプライアンスクイズ」 講師：本部事務局　業務総合指導役　伊藤　勝敏 テーマ：「職場内での円滑なコミュニケーション」 「問題解決方法について」

各施設外部派遣研修参加実績

施設名	施設種別	参加 研修数	参加 延べ人数	研修内容等
心身障害者福祉センター	障害者支援施設	22	25名	(WEB研修含む) ・スーパーバイザー研修　・ハラスメント防止研修 ・個別支援計画にこめる理念と現実 ・キャリアアップ研修（府社協）　・全障協研究大会 ・サービス管理責任者養成研修（府社協） ・京都市地域密着型サービス等研修 ・対人援助研修（府社協） ・メンタルヘルス、アンガーマネジメント研修 ・業務改善セミナー　・アーサティブ研修（府社協） ・口腔ケア研修（府社協）・コーチング口座（全事協） ・知的障害者福祉施設、身体障害者福祉施設等研修（府社協） ・社会福祉法人役員・施設長等運営管理職員研修（府社協）
	障害者支援施設（ひまわり）	7	10名	・京都府高次脳機能障害医療関係者研修 ・日本高次脳機能障害学会2022夏期教育研修講座 ・サービス管理責任者研修（府社協） ・山城北圏域高次脳機能障害ネットワーク会議 ・京都市高次脳機能障害支援センター医療機関等研修 ・脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・みんな働くミーティング
	相談支援事業所 TOMO	8	8名	・京都府障害者虐待防止・権利擁護研修 ・城陽市障碍者自立支援協議会サービス調整部会 ・相談支援従事者現任研修 ・脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・区分認定調査員フォローアップ研修 ・医療的ケア児等支援者養成研修
	附属リハビリテーション病院	12	16名	・京都府高次脳機能障害医療関係者等研修会 ・認知症対応に関わる医療・介護連携強化研修 ・看護補助差の活用推進のための看護管理者研修 ・高齢者臨床への神経心理学的支援　他
洛南寮	養護老人ホーム	4	5名	・全国老人福祉施設大会・研究会議 ・近畿老人福祉施設協議会研修 ・京田辺市普通救命講習　他
	救護施設	6	10名	・近畿救護施設協議会研修 ・全国救護施設協議会研修 ・全国社会福祉法人経営者協議会大会 ・京都府地域定着支援センター研修 ・京田辺市普通救命講習　他
東山母子生活支援施設	母子生活支援施設	25	36名	・全国母子生活支援施設職員研修会 ・DV被害者支援専門研修 ・全国及び近畿母子生活支援施設研究大会 ・全社協ファミリーソーシャルワーク研修 ・児童福祉施設職員研修　他
視力障害者福祉センター	障害者支援施設	10	13名	・社会福祉協議会主催「ハラスメント防止研修」 ・近畿盲学校教育研究会 ・就業支援基礎研修 ・相談支援専門員スキルアップ研修 ・京都市特定給食施設等講習会 ・卒後鍼灸手技研修会
桃山学園	障害児入所施設	28	45名	・自閉症啓発セミナー ・強度行動障害支援者養成研修 ・サービス管理責任者等基礎研修 ・災害対策部会 ・相談支援従事者現任研修 ・虐待を受けた子どものこころの支援 ・相談支援従事者初任者研修 ・相談支援専門員等スキルアップ研修 ・サービス管理責任者等更新研修 ・京都府障害者虐待防止・権利擁護研修 ・発達障害に関する勉強会 ・障害福祉従事者専門研修 ・PECSレベルIワークショップ ・医療的ケア児支援者養成研修 ・ボランティアコーディネーション講座　他
	児童養護施設	18	22名	・児童間性暴力の防止・早期発見・効果的介入のために ・愛着形成の理解と支援の基本 ・社会福祉士実習指導者講習会 ・OJTリーダー研修 ・社会福祉実習担当研修会 ・全国LSW実践研究交流会 ・全国児童福祉安全委員会全国大会 ・地域共同セミナー ・近畿児童養護施設協議会職員研修 ・先進面の課題に関する専門部会 事例検討会
こども発達支援センター	児童発達支援センター(福祉型・医療型) 児童発達支援事業 診療所 障害児相談支援 保育所等訪問支援事業 放課後等ディサービス事業	21	43名	・気になる子ども支援のための学習会/山城北保健所 ・厚生労働省指定　奈良県臨床実習指導者講習会 ・自閉症の子の会話を育てる —児童発達支援の現場から—/CAN言語障害セミナー ・山城北圏域障害者自立支援協議会 発達部会 学習会 ・京田辺市障がい者等基幹相談支援センター 相談支援専門員スキルアップ研修 ・宇治市　早期療育ネットワーク会議　講演会 ・井手やまぶき相談・支援センター「子育て教室」 ・近畿肢体不自由児連絡協議会 言語部会研修・療育研究大会
発達障害者支援センター	—	24	31名	・WISC-Ⅴ検査結果と発達支援実践の橋渡し ・読解ができるにはどんな力が必要か ・日本ペアレントトレーニング研究大会 ・司法と福祉の連携の現状 ・自閉スペクトラム症支援者入門研修 ・学習障害のある子どもの理解と支援 ・発達障害者支援センター全国連絡協議会実務者研修　他
合計		185	264名	

各施設実習生受入実績

施設名	施設種別	受入学校(団体)数	実習受入		延べ日数
			人数	内容	
心身障害者福祉センター	障害者支援施設	2	2名 2名	社会福祉士 介護体験	34日
		1	2名	作業療法士（ひまわり）	12日
洛南寮	養護老人ホーム	1	1名	社会福祉士	24日
	救護施設	3	5名	社会福祉士	118日
東山母子生活支援施設	母子生活支援施設	4	4名 1名	社会福祉士 公認心理士	80日 11日
桃山学園	障害児入所施設	9	25名 6名 6名	保育士 社会福祉士 介護体験	249日
	児童養護施設	20	6名 35名 5名 4名	介護等体験 保育士 社会福祉士 公認心理師	532日
こども発達支援センター	通園部門	4	8名	保育士	80日
	放課後等デイ部門	1	27名	心理	379日
	診療部門	1 1 4 1	2名 1名 4名 1名	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士 公認心理師	30日 14日 26日 4日
合計		52	147名		1,593日

②インターンシップ・1DAYチャレンジ受入実績

施設名	インターンシップ	1DAYチャレンジ	備考
法人内施設 連携型	5名	ー	【対象施設】 心身障害者福祉センター・洛南寮・東山母子生活支援施設・こども発達支援センター・本部事務局
心身障害者福祉センター	5名	0名	障害者入所施設 5名
洛南寮	0名	0名	
東山母子生活支援施設	3名	1名	
視力障害者福祉センター	0名	0名	
桃山学園	7名	1名	児童支援課 インターンシップ3名／1DAYチャレンジ1名 児童養護課 インターンシップ4名／1DAYチャレンジ0名
こども発達支援センター	0名	0名	
発達障害者支援センター	0名	0名	
計	20名	2名	

利用者満足度アンケート調査結果について

心身障害者福祉センター

1．調査概要

（1）実施時期　令和4年12月29日～令和5年1月15日
（2）配布部数　37部
（3）回収部数　37部
（4）回収率　100.0%

2．調査結果

【環境・サービスについて】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　施設は清潔で快適な環境になっていますか。	51.4%	40.5%	2.7%	5.4%
②　施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	54.1%	37.8%	2.7%	5.4%
③　職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	64.9%	29.7%	0.0%	5.4%
④　施設の食事はおいしいですか。	62.2%	29.7%	2.7%	5.4%
⑤　日中活動や行事は楽しいですか。	43.2%	45.9%	5.4%	5.4%

【職員の対応・接遇について】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　職員の言葉遣いは、ていねいですか。	56.8%	35.1%	2.7%	5.4%
②　職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	62.2%	32.4%	0.0%	5.4%
③　職員は、親切・ていねいに対応していますか。	62.2%	29.7%	2.7%	5.4%
④　職員は、いきいきと働いているように見えますか。	62.2%	29.7%	2.7%	5.4%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項　目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
①　職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	27.0%	54.1%	16.2%	2.7%
②　入浴・更衣・排泄等の生活場面で、プライバシーを守るよう配慮されていますか。	75.7%	2.7%	16.2%	5.4%
③　あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	73.0%	5.4%	16.2%	5.4%
④　施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	64.9%	13.5%	13.5%	8.1%
⑤　施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	62.2%	29.7%		8.1%

【全体的な満足度について】

項　目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	29.7%	27.0%	27.0%	5.4%	2.7%	8.1%

心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院（入院）

1. 調査概要

(1) 実施時期　令和4年11月1日～令和4年12月28日
(2) 配布部数　28部
(3) 回収部数　19部
(4) 回収率　67.9%

2. 調査結果

【環境・サービスについて】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　病院は清潔で快適な環境になっていますか。	73.7%	21.1%	5.3%	0.0%
②　病院は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	84.2%	10.5%	5.3%	0.0%
③　職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	89.5%	10.5%	0.0%	0.0%
④　（入院中の）病院の食事はおいしいですか。	89.5%	5.3%	5.3%	0.0%

【職員の対応・接遇について】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　職員の言葉遣いは、ていねいですか。	84.2%	15.8%	0.0%	0.0%
②　職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
③　職員は、親切・ていねいに対応していますか。	89.5%	10.5%	0.0%	0.0%
④　職員は、いきいきと働いているように見えますか。	89.5%	5.3%	0.0%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項　目	回答			
	はい	ふつう（③いいえ）	どちらでもない	未回答
①　職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	5.3%	94.7%	0.0%	0.0%
②　病院を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	89.5%	0.0%	10.5%	0.0%
③　あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④　病院を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	89.5%	0.0%	5.3%	5.3%
⑤　表院のサービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	36.8%	57.9%		5.3%

【全体的な満足度について】

項　目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	73.7%	15.8%	5.3%	0.0%	0.0%	5.3%

心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院（外来）

1. 調査概要
(1) 実施時期　令和4年11月1日～令和4年12月16日
(2) 配布部数　158部
(3) 回収部数　86部
(4) 回収率　54.4%

2. 調査結果
【環境・サービスについて】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　病院は清潔で快適な環境になっていますか。	59.3%	37.2%	1.2%	2.3%
②　病院は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	67.4%	27.9%	1.2%	3.5%
③　職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	70.9%	22.1%	1.2%	5.8%
④　職員の電話対応は、適切ですか。	53.5%	32.6%	0.0%	14.0%

【職員の対応・接遇について】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　職員の言葉遣いは、ていねいですか。	65.1%	30.2%	0.0%	4.7%
②　職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	74.4%	20.9%	1.2%	3.5%
③　職員は、親切・ていねいに対応していますか。	68.6%	26.7%	1.2%	3.5%
④　職員は、いきいきと働いているように見えますか。	55.8%	39.5%	0.0%	4.7%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項　目	回答			
	はい	ふつう（③いいえ）	どちらでもない	未回答
①　職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	4.7%	72.1%	17.4%	5.8%
②　病院を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	80.2%	2.3%	10.5%	7.0%
③　あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	75.6%	2.3%	15.1%	7.0%
④　病院を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	70.9%	2.3%	20.9%	5.8%
⑤　表院のサービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	57.0%	34.9%		8.1%

【全体的な満足度について】

項　目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	43.0%	33.7%	16.3%	0.0%	0.5%	7.0%

洛南寮　養護老人ホーム

1. 調査概要
(1) 実施時期　令和4年11月1日～令和4年12月31日
(2) 配布部数　71部
(3) 回収部数　61部
(4) 回収率　85.9%

2. 調査結果
【環境・サービスについて】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　施設は清潔で快適な環境になっていますか。	62.3%	31.1%	6.6%	0.0%
②　施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	72.1%	23.0%	4.9%	0.0%
③　職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	70.5%	23.0%	4.9%	1.6%
④　施設の食事はおいしいですか。	68.9%	19.7%	11.5%	0.0%
⑤　日中活動や行事は楽しいですか。	47.5%	37.7%	13.1%	1.6%

【職員の対応・接遇について】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　職員の言葉遣いは、ていねいですか。	60.7%	34.4%	3.3%	1.6%
②　職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	68.9%	27.9%	3.3%	0.0%
③　職員は、親切・ていねいに対応していますか。	63.9%	27.9%	4.9%	3.3%
④　職員は、いきいきと働いているように見えますか。	67.2%	24.6%	4.9%	3.3%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項　目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
①　職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	32.8%	52.5%	14.8%	0.0%
②　入浴・更衣・排泄等の生活場面で、プライバシーを守るよう配慮されていますか。	75.4%	1.6%	21.3%	1.6%
③　あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	72.1%	4.9%	18.0%	4.9%
④　施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	59.0%	8.2%	29.5%	3.3%
⑤　施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	41.0%	57.4%		1.6%

【全体的な満足度について】

項　目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	27.9%	27.9%	32.8%	1.6%	1.6%	8.2%

洛南寮　救護施設

1. 調査概要
(1) 実施時期　令和4年11月1日～令和4年12月31日
(2) 配布部数　93部
(3) 回収部数　89部
(4) 回収率　95.7%

2. 調査結果
【環境・サービスについて】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　施設は清潔で快適な環境になっていますか。	53.9%	38.2%	7.9%	0.0%
②　施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	64.0%	20.2%	14.6%	1.1%
③　職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	71.9%	23.6%	4.5%	0.0%
④　施設の食事はおいしいですか。	47.2%	33.7%	19.1%	0.0%
⑤　日中活動や行事は楽しいですか。	42.7%	37.1%	18.0%	2.2%

【職員の対応・接遇について】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　職員の言葉遣いは、ていねいですか。	67.4%	28.1%	4.5%	0.0%
②　職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	71.9%	19.1%	9.0%	0.0%
③　職員は、親切・ていねいに対応していますか。	66.3%	30.3%	3.4%	0.0%
④　職員は、いきいきと働いているように見えますか。	71.9%	21.3%	5.6%	1.1%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項　目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
①　職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	20.2%	59.6%	20.2%	0.0%
②　入浴・更衣・排泄等の生活場面で、プライバシーを守るよう配慮されていますか。	78.7%	5.6%	15.7%	0.0%
③　あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	71.9%	7.9%	19.1%	1.1%
④　施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	65.2%	12.4%	22.5%	0.0%
⑤　施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	59.6%	37.1%		3.4%

【全体的な満足度について】

項　目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	33.7%	13.5%	42.7%	4.5%	5.6%	0.0%

東山母子生活支援施設

1. 調査概要
(1) 実施時期　令和4年12月1日～令和4年12月10日
(2) 配布部数　19部
(3) 回収部数　11部
(4) 回収率　57.9%

2. 調査結果
【環境・サービスについて】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　施設は清潔で快適な環境になっていますか。	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%
②　施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%
③　職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	72.7%	18.2%	9.1%	0.0%
④　施設が企画する行事等は楽しいですか。	72.7%	18.2%	9.1%	0.0%
⑤　職員の電話対応は、適切ですか。	72.7%	18.2%	9.1%	0.0%

【職員の対応・接遇について】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　職員の言葉遣いは、ていねいですか。	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%
②　職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%
③　職員は、親切・ていねいに対応していますか。	63.6%	27.3%	9.1%	0.0%
④　職員は、いきいきと働いているように見えますか。	63.6%	27.3%	9.1%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項　目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
①　職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	36.4%	54.5%	0.0%	9.1%
②　施設を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	72.7%	9.1%	18.2%	0.0%
③　あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	81.8%	9.1%	9.1%	0.0%
④　施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	63.6%	27.3%	9.1%	0.0%
⑤　施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	54.5%	45.5%		0.0%

【全体的な満足度について】

項　目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	45.5%	9.1%	18.2%	9.1%	0.0%	18.2%

視力障害者福祉センター

1. 調査概要
(1) 実施時期　令和4年12月19日～令和5年1月10日
(2) 配布部数　16部
(3) 回収部数　16部
(4) 回収率　100.0%

2. 調査結果
【環境・サービスについて】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　施設は清潔で快適な環境になっていますか。	50.0%	31.3%	18.8%	0.0%
②　施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%
③　職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	68.8%	18.8%	12.5%	0.0%
④　施設の食事はおいしいですか。	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
⑤　施設が企画する行事等は楽しいですか。	43.8%	56.3%	0.0%	0.0%

【職員の対応・接遇について】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　職員の言葉遣いは、ていねいですか。	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%
②　職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%
③　職員は、親切・ていねいに対応していますか。	43.8%	43.8%	12.5%	0.0%
④　職員は、いきいきと働いているように見えますか。	37.5%	50.0%	12.5%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項　目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
①　職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	37.5%	56.3%	6.3%	0.0%
②　施設を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	56.3%	18.8%	25.0%	0.0%
③　あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	68.8%	12.5%	18.8%	0.0%
④　施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	43.8%	31.3%	25.0%	0.0%
⑤　施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	93.8%	6.3%		0.0%

【全体的な満足度について】

項　目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	31.3%	37.5%	18.8%	6.3%	6.3%	0.0%

こども発達支援センター　児童発達

1. 調査概要
(1) 実施時期　令和4年12月12日～令和4年12月27日
(2) 配布部数　64部
(3) 回収部数　57部
(4) 回収率　89.1%

2. 調査結果
【環境・サービスについて】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　施設は清潔で快適な環境になっていますか。	86.0%	14.0%	0.0%	0.0%
②　施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	94.7%	5.3%	0.0%	0.0%
③　職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	98.2%	1.8%	0.0%	0.0%
④　日中活動や行事は楽しいですか。	96.5%	3.5%	0.0%	0.0%
⑤　職員の電話対応は、適切ですか。	98.2%	1.8%	0.0%	0.0%

【職員の対応・接遇について】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　職員の言葉遣いは、ていねいですか。	93.0%	7.0%	0.0%	0.0%
②　職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	98.2%	1.8%	0.0%	0.0%
③　職員は、親切・ていねいに対応していますか。	98.2%	1.8%	0.0%	0.0%
④　職員は、いきいきと働いているように見えますか。	91.2%	8.8%	0.0%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項　目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
①　職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	17.5%	82.5%	0.0%	0.0%
②　施設を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	96.5%	0.0%	3.5%	0.0%
③　あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	98.2%	1.8%	0.0%	0.0%
④　施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	89.5%	0.0%	10.5%	0.0%
⑤　施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	86.0%	14.0%		0.0%

【全体的な満足度について】

項　目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	84.2%	14.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%

こども発達支援センター　診療

1. 調査概要
(1) 実施時期　令和4年12月21日～令和4年12月27日
(2) 配布部数　150部
(3) 回収部数　148部
(4) 回収率　98.7%

2. 調査結果
【環境・サービスについて】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　施設は清潔で快適な環境になっていますか。	83.8%	15.5%	0.0%	0.7%
②　施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	85.8%	13.5%	0.7%	0.0%
③　職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	86.5%	13.5%	0.0%	0.0%
④　職員の電話対応は、適切ですか。	89.9%	10.1%	0.0%	0.0%

【職員の対応・接遇について】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　職員の言葉遣いは、ていねいですか。	91.9%	8.1%	0.0%	0.0%
②　職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	89.9%	10.1%	0.0%	0.0%
③　職員は、親切・ていねいに対応していますか。	89.9%	10.1%	0.0%	0.0%
④　職員は、いきいきと働いているように見えますか。	75.0%	24.3%	0.0%	0.7%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項　目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
①　職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	11.5%	85.1%	3.4%	0.0%
②　施設を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	91.9%	1.4%	6.1%	0.7%
③　あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	88.5%	0.7%	9.5%	1.4%
④　施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	89.9%	2.0%	8.1%	0.0%
⑤　施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	31.1%	67.6%		1.4%

【全体的な満足度について】

項　目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	61.5%	23.6%	10.1%	0.7%	0.0%	4.1%

こども発達支援センター　放課後等デイサービス

1. 調査概要
(1) 実施時期　令和4年12月16日～令和5年1月5日
(2) 配布部数　46部
(3) 回収部数　36部
(4) 回収率　78.3%

2. 調査結果
【環境・サービスについて】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　施設は清潔で快適な環境になっていますか。	97.2%	2.8%	0.0%	0.0%
②　施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	94.4%	2.8%	2.8%	0.0%
③　職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%
④　日中活動や行事は楽しいですか。	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
⑤　職員の電話対応は、適切ですか。	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%

【職員の対応・接遇について】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　職員の言葉遣いは、ていねいですか。	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%
②　職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	97.2%	2.8%	0.0%	0.0%
③　職員は、親切・ていねいに対応していますか。	97.2%	2.8%	0.0%	0.0%
④　職員は、いきいきと働いているように見えますか。	86.1%	13.9%	0.0%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項　目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
①　職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	11.1%	86.1%	2.8%	0.0%
②　施設を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	94.4%	0.0%	5.6%	0.0%
③　あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	94.4%	0.0%	5.6%	0.0%
④　施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	94.4%	2.8%	2.8%	0.0%
⑤　施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	80.6%	19.4%		0.0%

【全体的な満足度について】

項　目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	86.1%	13.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

発達障害者支援センター

1. 調査概要
(1) 実施時期　令和4年11月1日～令和4年12月31日
(2) 配布部数　12部
(3) 回収部数　12部
(4) 回収率　100.0%

2. 調査結果
【職員の対応・接遇について】

項　目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
①　職員の言葉遣いは、ていねいですか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
②　職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
③　職員は、親切・ていねいに対応していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④　職員は、いきいきと働いているように見えますか。	83.3%	8.3%	0.0%	8.3%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

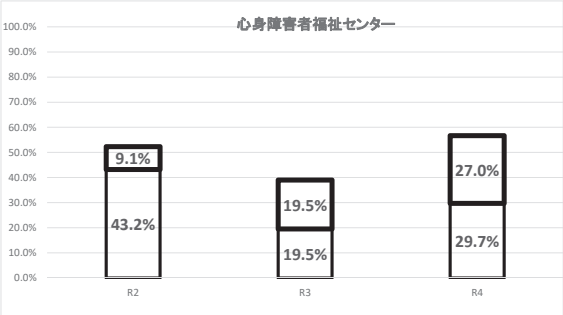
項　目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
①　職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
②　相談のあとに、不安が軽減したり問題解決につながっていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
③　施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたいとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	33.3%	58.3%		8.3%

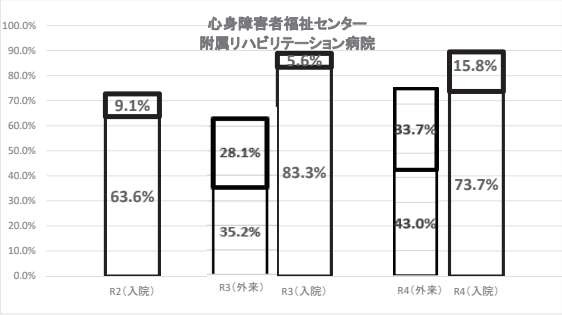
【全体的な満足度について】

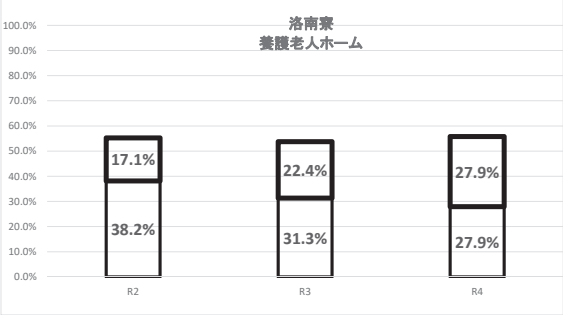
項　目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

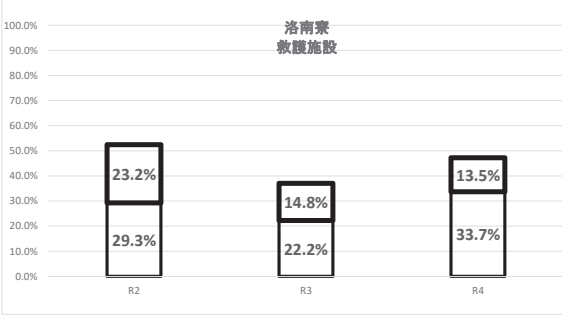
各施設別「満足」・「やや満足」と回答した者の推移

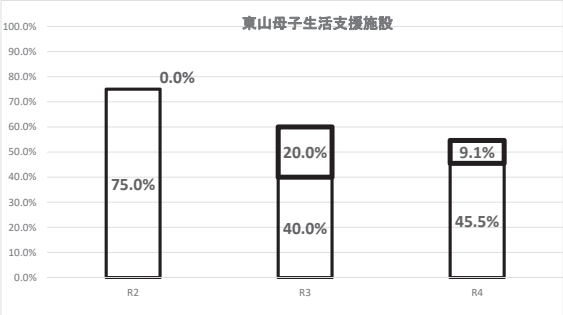
上段 満足　下段 やや満足

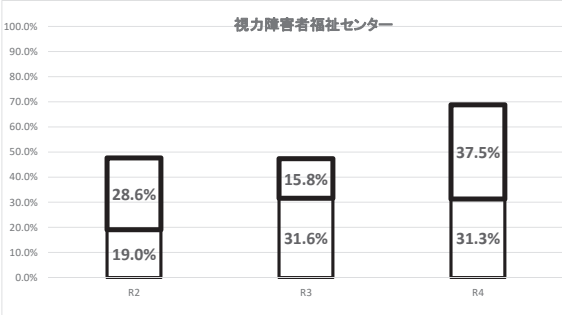


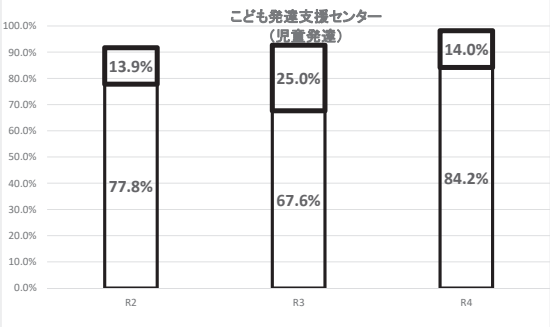


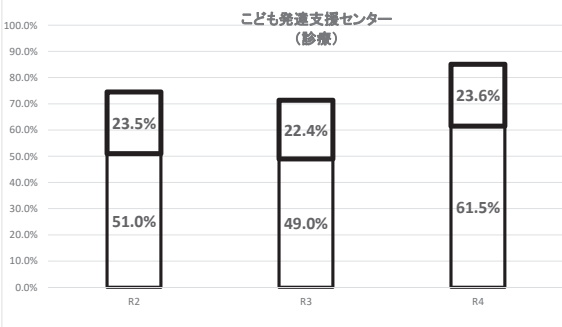


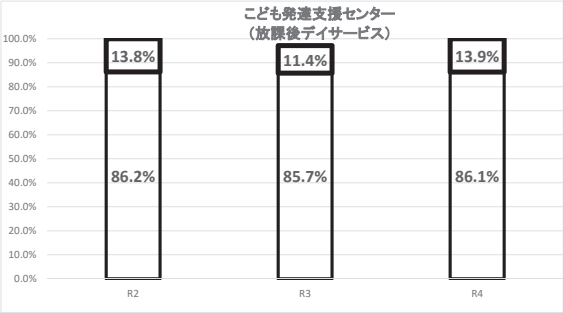


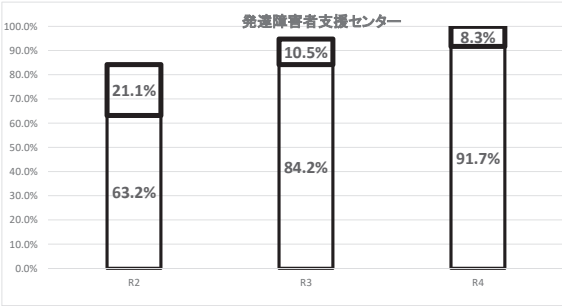












苦情対応状況

(1)内容別発生件数

(単位：　件)

施設名 / 苦情の内容	心身障害者福祉センター	洛南寮	東山母子生活支援施設	視力障害者福祉センター	桃山学園	こども発達支援センター	発達障害者支援センター	合計
サービス内容（職員の接遇）	0	0	0	5	1	0	0	6
サービス内容（プログラム、生活支援、医療・看護ケア等）	0	0	0	0	1	0	0	1
サービス内容（食事関連）	0	0	0	0	0	0	0	0
相談・連絡（説明不足、対応の即時性等）	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者間トラブル	0	0	0	0	0	0	0	0
設備	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	5	2	0	0	7

(2)受付方法

(単位：　件)

施設名 / 方法	心身障害者福祉センター	洛南寮	東山母子生活支援施設	視力障害者福祉センター	桃山学園	こども発達支援センター	発達障害者支援センター	合計
直接	0	0	0	5	1	0	0	6
第三者委員を介して受付	0	0	0	0	1	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	5	2	0	0	7

(3) 申し出者

(単位：　件)

施設名 / 申し出者	心身障害者福祉センター	洛南寮	東山母子生活支援施設	視力障害者福祉センター	桃山学園	こども発達支援センター	発達障害者支援センター	合計
本人	0	0	0	5	1	0	0	6
家族	0	0	0	0	1	0	0	1
その他（近隣住民　等）	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	5	2	0	0	7

(4)解決状況

（単位：件）

施設名 区分	心身障害者福祉センター	洛南寮	東山母子生活支援施設	視力障害者福祉センター	桃山学園	こども発達支援センター	発達障害者支援センター	合計
円満解決（施設側の対応により申立者が納得）	0	0	0	3	1	0	0	4
円満解決(法人本部の介入により本人納得）	0	0	0	0	0	0	0	0
外部の機関の介入で解決	0	0	0	0	0	0	0	0
未解決にて調整中	0	0	0	2	0	0	0	2
その他	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	0	0	0	5	2	0	0	7

(5)発生件数の年度推移

（単位：件）

施設名 年度	心身障害者福祉センター	洛南寮	東山母子生活支援施設	視力障害者福祉センター	桃山学園	こども発達支援センター	発達障害者支援センター	合計
令和2年度	1	2	0	6	1	0	0	10
令和3年度	0	0	0	7	0	1	0	8
令和4年度	0	0	0	5	2	0	0	7

ヒヤリハット・事故集計状況

事故･ヒヤリハットの取扱い（新たな分類基準を含む）について、平成30年4月に開催「サービス向上推進委員会」で統一し、その分類による集計値を報告

（1）分類表

No.	種類	ヒヤリハット区分			事故 ［行政機関への報告］
		［レベル1］	［レベル2］	内部事故［レベル3］	
1	転倒等による被傷 （骨折、火傷、創傷等）	外傷なし	施設内処置	医療機関への1回の通院	ア　利用者の死亡（左記1～7）
2	異食	未嚥下	施設内処置	医療機関への1回の通院	・サービス提供による利用者の死亡 ・利用者の死亡原因に疑義
3	誤嚥	未然回避	施設内処置	医療機関への1回の通院	イ　利用者の怪我等（左記1～7）
4	誤与薬	誤与薬の未然回避	自己管理者の服薬ミス	介護者管理に係る服薬ミス	入院又は医療機関での継続的な治療を要するもの
5	所在不明	敷地内等近辺で発見	周辺捜索にて発見 （概ね2時間以内）	警察への保護願い届け （24時間以内に発見）	ウ　利用者の保有する財物の損壊、滅失（10万円～） （左記8～9）
6	利用者間暴力	外傷等なし	施設内処置	医療機関への1回の通院	エ　従業員の法令違反により利用者の処遇に影響を及ぼすもの
7	あはき施術による被傷	外傷等なし	施設内処置	医療機関への1回の通院	オ　その他、管理者が報告を必要と判断したもの
8	利用者による施設、 設備等の損害	実害に至らなかったもの	施設内で復旧出来る 軽微なもの（～3万円）	復旧に金銭を多額に 必要とするもの（～10万円）	（･警察に保護願いを提出後24時間経過したもの） （左記5）
9	利用者の保有する 財物の損壊、滅失	実害に至らなかったもの	軽微なもの（～3万円）	多額なもの（～10万円）	（･利用者間暴力に関し,本人、家族の了承がないもの） （左記6）
10	セラピー,診察等予約ミス	未然回避	ミスはあったが他の方法にて実施し実害回避	実施できず	（注）利用者による施設、設備等の損害は事故の場合も行政機関への報告は要しない。

※2018. 4. 24　策定

（2）集計表　(法人全体　施設別)

（単位：件）

種類		心セ 支援課	洛南 養老	洛南 救護	東山母子	視力	桃山 支援課	桃山 養護	こども	合計
転倒等による被傷 (骨折、火傷、創傷等)	L1	52	106	78	6	0	4	2	4	252
	L2	11	27	26	5	0	7	5	11	92
	L3	4	5	3	0	0	1	0	1	14
	事故	3	7	16	0	0	0	0	1	27
異食	L1	1	0	3	0	0	7	0	1	12
	L2	0	1	0	0	0	1	0	0	2
	L3	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤嚥	L1	0	3	10	0	0	1	1	1	16
	L2	0	1	0	0	0	1	0	1	3
	L3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事故	0	0	1	0	0	0	0	0	1
誤与薬	L1	14	53	30	0	0	2	0	0	99
	L2	12	0	24	0	0	0	0	0	36
	L3	32	7	32	0	0	13	3	0	87
	事故	0	0	2	0	0	0	0	0	2
行方不明	L1	1	10	13	0	0	12	6	0	42
	L2	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	L3	0	0	4	0	0	0	0	0	4
	事故	0	0	1	0	0	0	0	0	1
利用者間暴力	L1	2	2	6	1	0	1	1	0	13
	L2	1	0	2	0	0	2	0	0	5
	L3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事故	0	0	1	0	0	0	0	0	1
利用者による施設、 設備等の損害	L1	0	0	0	1	0	1	1	0	3
	L2	0	0	0	0	0	1	2	0	3
	L3	0	0	0	0	0	2	0	0	2
	事故	0	0	1	0	0	0	0	0	1
利用者の保有する 財物の損壊、滅失	L1	3	0	0	0	0	1	0	0	4
	L2	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	L3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事故	3	0	0	0	0	0	0	0	3
あはき施術による被傷	L1	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	L2	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	L3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0
セラピー,診察等 予約ミス	L1	0	0	0	0	1	0	0	3	4
	L2	0	0	0	0	1	0	0	9	10
	L3	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	L1	73	174	140	8	2	29	11	9	446
	L2	26	29	54	5	2	12	7	21	156
	L3	37	12	39	0	0	16	3	4	111
	事故	6	7	22	0	0	0	0	1	36

1　本部事務局

（1） 法人虐待防止委員会実施状況

委員会名	実施日	実施内容
第10回虐待防止委員会	令和4年7月1日（月）	(1)令和3年度の主な取組み状況及び令和4年度の計画について (2)虐待防止に係る職員セルフチェック項目の見直しについて (3)その他 ・桃山学園における小規模グループケアの導入について

（2） 事故・虐待防止委員会実施状況

施設名	実施日	実施内容
心身障害者福祉センター	毎月1回	事故・ヒヤリハット報告の検証及び 利用者からの苦情・意見・要望等の申出に対するアドバイス 内、下記は事故・虐待防止推進員が参加 令和4年7月14日（木）　小出委員、浅井委員 令和4年8月4日（木）　岡田委員 令和4年9月8日（木）　岩井委員、樋口委員 令和4年12月8日（木）　中吉委員 令和5年2月9日（木）　高木委員
洛南寮	毎月1回	令和4年6月15日（水）　樋口委員 令和4年8月17日（水）　浅井委員 令和4年9月21日（水）　小出委員 令和4年11月16日（水）　岡田委員 令和4年12月21日（水）　高木委員
東山母子生活支援施設	毎月1回	令和4年6月22日（水）　岡田委員 令和4年8月31日（水）　小出委員、浅井委員 令和4年10月26日（水）　樋口委員 令和4年11月30日（水）　中吉委員、高木委員
視力障害者福祉センター	毎月1回	令和4年7月11日（月）　小出委員 令和4年8月10日（水）　浅井委員 令和4年10月11日（火）　中吉委員、岡田委員 令和4年11月14日（月）　樋口委員、高木委員
桃山学園	毎月1回	令和4年8月25日（木）　岡田委員、樋口委員、浅井委員 令和4年9月22日（木）　中吉委員、高木委員 令和4年10月27日（木）　岩井委員 令和4年12月22日（木）　小出委員
こども発達支援センター	毎月1回	令和4年8月5日（金）　浅井委員、中吉委員 令和4年9月9日（金）　岡田委員 令和4年10月14日（金）　小出委員、高木委員

（3） サービス向上推進幹事会

プロジェクト・委員会名	実施日	実施内容
第1回サービス向上推進幹事会	令和4年12月5日（月）	1. 施設間連携によるサービスの向上について（わたしの一押しプロジェクト） 2. 事故・ヒヤリハット報告分類見直しによるサービスの向上について 3. 令和3年度後期、令和4年度前期における苦情解決の取り組み状況について 4. その他
介護機器・IT機器等導入検討チーム （心身障害者支援センター）	通年	・「国際福祉機器展」報告会 ・機器の導入に関する打合せ　等 計　6回
介護機器・IT機器等導入検討チーム （洛南寮）		

（4） 広報委員会実施状況

プロジェクト・委員会名	実施日	実施内容
第1回広報委員会	令和4年7月8日(金)	(1)令和4年度広報委員会の運営について (2)意見交換 (3)新・魅力発信チームの取組みについて
臨時広報委員会	①令和4年10月14日(金) ②令和4年10月18日(火)	(1)内定者プログラム「施設見学ツアー」について (2)SNSの運用について
臨時広報委員会	①令和5年3月3日(金) ②令和5年3月6日(月)	(1)令和4年度第1回採用試験に向けた取り組みについて (2)法人独自のインターンシップについて

（5） 戦略的人材確保検討会議

プロジェクト・委員会名	実施日	実施内容
第1回戦略的人材確保検討会議	令和4年8月31日(水)	・事前アンケートに基づく施設長意見の聴取 ・当面の対応と今後の課題
第2回戦略的人材確保検討会議	令和4年9月20日(火)	・外国人雇用について
第3回戦略的人材確保検討会議	令和4年10月25日(火)	・情報発信について ・インターンシップ、実習の受入れについて ・リクルートについて ・募集・選定方法について ・人事制度、人材育成について
第4回戦略的人材確保検討会議	令和4年11月22日(火)	・情報発信について ・インターンシップ、実習の受入れについて ・リクルートについて ・募集・選定方法について ・人事制度、人材育成について ・外国人雇用について
第5回戦略的人材確保検討会議	令和4年12月27日(火)	・情報発信について ・インターンシップ、実習の受入れについて ・リクルートについて ・募集・選定方法について ・人事制度、人材育成について ・外国人雇用について
第6回戦略的人材確保検討会議	令和5年2月21日(火)	・情報発信について ・インターンシップ、実習の受入れについて ・リクルートについて ・募集・選定方法について ・人事制度、人材育成制度、外国人雇用について
第7回戦略的人材確保検討会議	令和5年3月22日(火)	・インターンシップ、実習の受入、リクルートについて ・職員採用について ・人事異動について

（6） 職員安全衛生委員会実施状況

プロジェクト・委員会名	実施日	実施内容
第1回職員安全衛生委員会	令和4年5月26日(木)	(1)新型コロナウィルス感染症感染状況について (2)令和3年度定期健康診断受診状況及び受診結果について (3)令和4年度定期健康診断等の実施について (4)人間ドック補助事業の拡大について (5)令和4年度ストレスチェックの実施について (6)令和3年年次有給休暇取得状況及び取得促進について
第2回職員安全衛生委員会	令和4年11月16日(水)	(1)就業規則等の改正について (2)令和4年年次有給休暇取得促進及び時間外の削減について (3)令和4年度定期健康診断(第1クール)受診状況について (4)令和4年度ストレスチェックの実施状況について
第3回職員安全衛生委員会	令和5年3月8日(水)	(1)令和4年度人間ドック受診状況について (2)令和4年度ストレスチェックの結果について (3)令和5年度健康診断等について

（7） 苦情解決連絡調整委員会

プロジェクト・委員会名	実施日	実施内容
苦情解決取組み報告会	令和5年1月16日 令和5年1月26日 令和5年1月31日 その他書面報告	各施設担当第三者委員へ苦情並びに利用者からの訴え・要望等の受付状況を報告 心身障害者福祉センター、こども発達支援センター （中根委員） 視力障害者福祉センター（樋口委員） 洛南寮（山田委員） 東山母子生活支援施設、桃山学園（岡本委員） ▪

（8） 採用・広報活動実績

①就職イベント参加実績

フェア名	実施日	会場	人数
令和4年度第1回FUKUSHI就職フェア	令和4年5月29日	みやこめっせ3階 第3展示場	11名
リハビリテーション就業フェア2022	令和4年8月28日	みやこめっせB1階	5名
介護・福祉のお仕事 相談＆面接会	令和4年9月22日	ハートピア京都3階 大会議室	10名
令和4年度京都府南部FUKUSHI就職フェア	令和4年9月25日	京都経済センター2階 京都産業会館ホール	12名
京田辺市介護・福祉就職フェア	令和4年10月1日	京田辺市役所 コミュニティホール	4名
京都府立大学 オンライン版合同企業研究会2022	令和4年11月25日	オンライン開催	1名
京都女子大学学内合同企業研究セミナー	令和5年2月15日	オンライン開催	6名
令和4年度第2回FUKUSHI就職フェア	令和5年3月5日	みやこめっせ3階 第3展示場	26名
京都文教大学福祉シューカツ合同説明会inKBU	令和5年3月13日	京都文教大学14 号館1階	7名

2　心身障害者福祉センター

（1） 施設利用状況の推移

① 障害者支援施設

（ア） 入･退所者の状況　（単位:名）

区分 / 年度	年度当初	入所	退所	退所の理由					年度末
				家庭復帰	自立生活	他施設	医療機関	死亡	
令和2年度	46	4	4	0	0	0	1	3	46
令和3年度	46	3	7	0	0	2	2	3	42
令和4年度	42	4	3	0	0	0	0	3	43

（イ） 月例別入所者数の推移　（単位:名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
令和2年度	46	47	47	47	47	46	48	46	46	46	46	46	46.5
令和3年度	46	46	46	45	47	47	48	48	48	46	44	42	46.1
令和4年度	43	43	43	43	43	43	43	45	44	43	43	43	43.3

（ウ） 他事業所利用状況　（単位:名）

	生活介護	就労B型	延べ利用日数
令和2年度	6	1	551日
令和3年度	6	1	494日
令和4年度	6	1	328日

（エ） 年齢別状況　（単位:名）

区分 / 年度	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
令和2年度	0	3	5	10	28	46
令和3年度	0	3	7	9	27	46
令和4年度	0	1	8	11	23	43

（オ） 障害支援区分別状況　（単位:名）

区分 / 年度	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
令和2年度	0	0	0	3	16	27	46
令和3年度	0	0	0	3	18	25	46
令和4年度	0	0	0	3	15	25	43

（カ） 地域別入所者の状況　（単位：名）

区分 / 年度	京都市	宇治市	城陽市	京田辺市	八幡市	京都府他市	京都府他町村	他府県	合計
令和2年度	11	6	21	1	1	2	3	1	46
令和3年度	16	9	7	2	1	4	5	2	46
令和4年度	16	7	8	2	2	2	4	2	43

（キ）在所期間の状況　（単位：名）

区分 / 年度	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	合計
令和2年度	2	4	3	8	12	9	7	1	46
令和3年度	4	5	1	8	10	10	8	0	46
令和4年度	4	6	5	6	8	7	7	0	43

（ク） 短期入所状況　（単位：名）

	利用実人数	利用回数	利用延べ日数	備考 契約市町村
令和2年度	5	42回	185日	井手町　宇治市　精華町 京田辺市
令和3年度	4	51回	331日	井手町　宇治市　精華町 京田辺市　西京区
令和4年度	6	70回	248日	井手町　宇治市 久御山町 京田辺市　八幡市 城陽市

② 生活訓練事業所　ひまわり

（ア） 契約者の状況　（単位：名）

区分 / 年度	年度当初	新規	終了	訓練終了後の状況					年度末
				家庭復帰	職場復帰/就労	他施設	医療機関	介護保険サービス	
令和2年度	11	4	3	3	0	0	0	0	12
令和3年度	12	2	5	1	4	0	0	0	9
令和4年度	9	5	6	0	5	0	0	1	8

（イ） 月例別契約者数の推移　（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均契約者数
令和2年度	11	12	13	12	12	12	11	11	11	11	11	12	11.6
令和3年度	12	12	13	14	13	13	13	13	12	11	11	9	12.2
令和4年度	9	10	9	9	10	9	9	9	8	7	7	8	8.7

（ウ） 通所状況　　（単位：名）

	合計	平均（月）
令和2年度	829	69
令和3年度	752	63
令和4年度	632	53

③ TOMO地域別相談支援

（ア）相談支援の延べ件数　　（単位：件）

区分 / 年度	入所施設		在　宅			合計
	心障（施設）	南京都・他施設	城陽市	宇治田原町	他	
令和2年度	61	57	0	3	14	135
令和3年度	40	54	0	1	7	102
令和4年度	60	79	0	1	11	151

※サービス等利用計画の作成と再評価の合計数を表示

※心障（施設）は入所者のみを記載

（イ）相談支援内容の内訳　　（単位：件）

区分 / 年度	サービス等利用計画の作成	サービス等利用計画の再評価	地域定着支援	合計
令和2年度	62	73	0	135
令和3年度	62	120	0	182
令和4年度	35	116	0	151

③ 附属リハビリテーション病院

（ア） 外来患者の状況

区分 年度	1日平均外来患者数(名)	延べ外来患者数(名)	内、高次脳機能外来	外来診療単価(円)
令和2年度	65.7	15,964	2,268	9,504
令和3年度	66.3	16,118	2,339	9,081
令和4年度	58.8	14,277	2,200	10,042

（イ） 入院患者の状況

区分 年度	1日平均入院患者数(名)	延べ入院患者数(名)	平均在院日数(日)	入院診療単価(円)
令和2年度	12.7	4,624	30.6	35,810
令和3年度	13.0	4,745	28.1	30,625
令和4年度	12.5	4,545	31.9	31,574

（ウ） リハビリテーション実施状況 （単位：回）

区分 年度	運動器ﾘﾊﾋ゛ﾘﾃｰｼｮﾝⅠ	脳血管疾患等ﾘﾊﾋ゛ﾘﾃｰｼｮﾝⅡ	合計
令和2年度	13,838	9,277	23,115
令和3年度	11,533	9,122	20,655
令和4年度	9,824	7,692	17,516

④ 体育館

利用状況

区分 年度	身体障害者 人員(名)	一般 人員(名)	合計 人員(名)
令和2年度	18,310	2,801	21,111
令和3年度	17,485	1,673	19,158
令和4年度	20,692	4,664	25,356

（2） 地域に向けた公益的な取組み

① 地域に向けた活動

（障害者支援施設）

事業名称	実施日	招待者・参加者	実施内容
小中学校福祉体験学習	令和4年10月7日	深谷小4年4クラス	小学校3校、中学校1校での車いす体験等体験学習への職員派遣
	令和4年12月9日	南城陽中1年4クラス	
	令和4年12月9日	青谷小3～6年各1クラス 寺田南小6年2クラス	

（附属リハビリテーション病院）

城陽市東部コミュニティーセンター健康フェスタ	令和4年11月15日	事前予約した東部コミュニティーセンター利用者46名	・講演「ステイホームで弱った骨を強くしよう」 ・ロコモ体操 ・骨密度測定
第26回京都地域リハビリテーション研究会	令和4年11月27日	講師	講師として京都地域リハビリテーション研究会で講演を行う 講演「外来リハの取組　就労支援を中心に」

② 文化・ｽﾎﾟｰﾂ関係参加

第28回とっておきの芸術祭	令和4年12月1日～4日	全利用者対象	利用者日中活動作品を出品
城陽市ふれあいまつり	令和4年11月18日～	利用者物品提供44点 スタッフ参加1名	ポスター展示参加 利用者製作販売物品提供（44点） 当日スタッフ派遣

（3） 職場内研修実施状況

（障害者支援施設）

研修名	実施日	参加人数	研修内容
オムツ研修	令和4年6月28日 令和4年7月26日	13名	①排泄メカニズムについて②失禁の原因③オムツの選び方④オムツの当て方⑤皮膚状態を保つ工夫⑥動きのある方への対応 講師：倉橋支援員
感染防止研修 （新型コロナ感染）	令和4年7月12日	11名	①施設内クラスターの振り返り②感染防止対策 講師：洛和会丸太町病院 感染管理認定看護師　小野寺隆記氏
医療的ケアの導入について	令和4年11月24日	14名	①センターを取り巻く医療的ケアの現状について②喀痰吸引研修の報告及びグループ討議③医療的ケアについての地域の現状と質疑応答 講師：上村支援員　清水施設長　二島看護師
虐待防止研修	令和5年1月31日	14名	①昨今の虐待事件の報道より②虐待防止について～身体拘束防止の軸に～ 講師：清水施設長　伊藤業務総合指導役
日常業務で出会う健康異常と対処法	令和5年2月14日	9名	・現場で出会うこんな時どうする？＝現場で出会う健康異常と対処法について 講師：リハビリテーション病院　河瀬師長
高次脳機能障害への対応	令和5年3月16日	7名	ひまわり植田主任による高次脳機能障害についての復命研修（WEB研修）を支援課向けに再度設定したもの 講師：生活訓練事業所ひまわり　植田主任

（リハビリテーション病院）

研修名	実施日	参加人数	研修内容
院内研修（リハビリ部門研修）	4月28日	7名	FIM採点（機能的自立評価法）の概要
院内研修（リハビリ部門研修）	5月24日 7月26日	8名 9名	・膝の評価と治療 ・足の評価と治療
院内研修（リハビリ部門研修）	6月28日・30日 7月5日・7日・12日・14日・19日・21日・28日	37名（延べ人数）	リハビリテーション医学会のオンデマンド講演
院内研修（リハビリ部門研修）	12月1日～1月16日	3名	【Web】頸髄損傷者に対するリハビリテーション
院内研修（看護部門研修）	令和4年4月21日	2名	看護補助者の業務について
院内研修（看護部門研修）	令和4年6月2日	2名	食中毒の原因と種類について
院内研修（看護部門研修）	6月10日～16日	全看護師	看護補助者の業務・協働に向けて
院内研修（看護部門研修）	10月26日	全看護師	【Web】ストマ勉強会
院内研修（看護部門研修）	11月2日	全看護師	口腔ケア勉強会
院内研修（医薬品取扱研修）	7月8日	全職員	ディビゴ（睡眠剤、不眠症の治療薬）について
院内研修（医療安全研修）	8月10日～9月7日	全職員	【Web】院内感染防止研修
院内研修（医療安全研修）	8月10日～9月7日	全職員	【Web】PPEの着脱について
院内研修（医療安全研修）	8月19日	全職員	【Web】停電時の対応
院内研修（医療安全研修）	9月30日	全職員	【Web】緊急時対応マニュアルの振返り

院内研修（医療安全研修）	3月16日～3月25日	全職員	【Web】AED、心肺蘇生訓練の実施について
院内研修（医療機器研修）	9月30日	全職員	アイスタット（ポータブル型血液検査装置）について
院内研修（感染対策）	8月10日～9月7日	全職員	【Web】院内感染防止対策研修 ・クラスターの振り返りと、クラスターを起こさないための備え ・質疑応答とPPEの着脱について
院内研修（感染対策）	2月22日～3月14日	全職員	【Web】院内感染防止対策研修 新型コロナウイルス感染症に関する特別講習
院内研修（サイバーセキュリティ）	1月17日	全職員	【Web】院内サイバーセキュリティ研修 個人情報の流失を防ぐために
院内研修（避難訓練）	①11月22日 ②3月24日～31日	①5名 ②全職員	①支援課実施の訓練に参加 ②【Web】避難経路の確認、消化器の使用方法
院内研修（その他）	12月9日・16日	全職員	【Web】手話研修
院内研修（その他）	10月28日	全職員	【Web】人権研修（職場におけるハラスメントについて）
学会等	7月11日～8月10日	1名	【Web】第23回日本言語聴覚学会
学会等	9月8日、9日	1名	第46回日本神経心理学会学術集会
学会等	9月16日～18日	1名	第56回日本作業療法士学会
学会等	2月5日	1名	第8回京都リハビリテーション医学会学術集会（演題発表）
感染防止対策研修	6月10日 8月26日 10月14日 12月16日	4名	感染管理合同カンファレンス（岡本記念病院）
京都府看護協会	5月25日	1名	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修
京都府看護協会	9月16日～30日	1名	【Web】看護研修

地域連携関連	7月16日～17日	5名	【Web】京都府高次脳機能障害医療関係者等研修会
地域連携関連	7月20日～22日	1名	【Web】京都府高次脳機能障害支援・指導者養成研修（基礎）
地域連携関連	3月16日	1名	認知症対応に関わる医療・介護連携強化研修
地域連携関連	3月21日	1名	高齢者臨床への神経心理学的支援
その他	7月6日	1名	【Web】介護福祉業界の採用PR講座
その他	12月12日	1名	EMIS（広域災害救急医療情報システム）入力　研修、訓練

3　洛　南　寮

（1） 施設利用状況の推移

① 養護老人ホーム

入･退所の状況　（単位:名）

区分／年度	年度当初	入所	退所	退所後の状況						年度末
				社会復帰	家庭復帰	医療機関	他施設	死亡	その他	
令和2年度	86	18	18	2	1	3	4	8	0	86
令和3年度	86	9	19	0	3	1	7	8	0	76
令和4年度	76	8	13	0	0	1	2	10	0	71

（イ） 月例別入所者数の推移　（単位:名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
令和2年度	87	87	85	87	87	87	87	87	84	85	86	86	86.3
令和3年度	85	85	84	83	83	82	81	80	79	79	76	76	81.1
令和4年度	76	77	76	76	74	72	71	71	71	70	71	71	73.0

（ウ） 年齢別状況　（単位:名）

区分／年度	65歳未満	65～74歳	75歳～84歳	85歳～95歳	95歳以上	合計	平均年齢（歳）	最高齢（歳）
令和2年度	0	23	37	24	2	86	80.0	104
令和3年度	0	22	31	22	1	76	80.5	105
令和4年度	0	16	35	18	2	71	81.7	106

（エ） 入所前の状況　（単位:名）

区分／年度	家族等同居	単身生活	長期入院	他施設	その他	合計
令和2年度	24	34	9	15	4	86
令和3年度	21	29	7	15	4	76
令和4年度	23	25	9	7	7	71

※その他は、ホームレス、矯正施設退所者

（オ） 地域別入所者の状況　（単位:名）

区分／年度	京都市	宇治市	城陽市	京田辺市	八幡市	京都府他市	京都府他町村	他府県	合計
令和2年度	47	9	3	5	2	8	10	2	86
令和3年度	42	7	3	3	1	8	11	1	76
令和4年度	35	8	2	4	1	10	10	1	71

（カ） 介護認定状況

（単位：名）

区分 年度	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	未認定	平均介護度	計
令和2年度	36	4	5	11(2)	7(3)	9(7)	8(7)	6(6)	0	2.8(3.5)	86(25)
令和3年度	36	3	3	9(2)	8(4)	8(7)	4(4)	5(5)	0	2.6(3.3)	76(22)
令和4年度	35	1	4	5(1)	7(4)	7(3)	10(8)	2(2)	0	2.9(3.3)	71(18)

※(　)内は一般型特定施設入居者介護利用者

（キ）在所期間の状況

（単位：名）

区分 年度	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	合計
令和2年度	16	18	15	26	5	6	0	0	86
令和3年度	5	19	14	27	5	6	0	0	76
令和4年度	6	20	13	23	4	5	0	0	71

② 救護施設

（ア） 入・退所の状況

（単位：名）

区分 年度	年度当初	入所	退所	退所後の状況						年度末
				社会復帰	家庭復帰	医療機関	他施設	死亡	その他	
令和2年度	91	14	14	3	0	6	4	1	0	91
令和3年度	91	13	14	2	0	3	4	5	0	90
令和4年度	90	15	10	2	0	0	2	6	0	95

（イ）月例別入所者数の推移

（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
令和2年度	91	89	90	87	87	86	86	87	88	90	90	91	88.5
令和3年度	91	90	89	88	88	88	88	87	87	87	89	90	88.5
令和4年度	90	91	94	92	92	92	95	94	93	93	94	95	92.9

（ウ） 年齢別状況

（単位：名）

区分 年度	20～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計	平均年齢（歳）
令和2年度	7	22	35	23	4	91	63.4
令和3年度	8	22	29	26	5	90	64.2
令和4年度	7	22	36	25	5	95	64.1

（エ） 入所前の状況　（単位:名）

区分 / 年度	家族同居	単身	入院	他施設	その他	合計
令和2年度	11	16	58	6	0	91
令和3年度	10	18	57	5	0	90
令和4年度	11	15	61	7	1	95

※その他は、ホームレス、矯正施設退所者

（オ） 地域別入所者の状況　（単位:名）

区分 / 年度	京都市	宇治市	城陽市	京田辺市	八幡市	京都府他市	京都府他町村	他府県	合計
令和2年度	26	17	4	6	4	23	11	0	91
令和3年度	31	16	3	6	4	22	8	0	90
令和4年度	33	13	2	7	4	22	14	0	95

（カ） 障害別状況　（単位:名）

区分 / 年度	身体障害	知的障害	精神障害	身体･知的重複	身体･精神重複	知的･精神重複	身体･知的･精神重複	その他	計
令和2年度	1	9	58	0	5	3	0	15	91
令和3年度	3	5	53	0	7	3	0	19	90
令和4年度	3	4	53	0	7	3	0	25	95

※その他はｱﾙｺｰﾙ障害

（キ）在所期間の状況　（単位:名）

区分 / 年度	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	合計
令和2年度	13	24	8	17	6	8	13	2	91
令和3年度	11	19	16	16	8	6	12	2	90
令和4年度	16	15	19	17	10	5	11	2	95

（ク）一時保護利用状況

区分 / 年度	利用者数	利用日数
令和2年度	7人	73日
令和3年度	6人	124日
令和4年度	3人	60日

（2） 地域に向けた公益的な取組み

① 地域に向けた活動

（ア） 地域高齢者配食サービス事業

実施日	対象者数	給食数	実施内容
毎月第2水曜日 （7月は中止）	京田辺市内の70歳以上の独居老人	毎回35食	洛南寮で調理した夕食弁当を京田辺市社会福祉協議会ボランティアにより各対象者宅に配送する。

（イ） 地域交流

事業名称	実施日	招待者･参加者	実施内容
敬老のつどい	令和4年9月8日	利用者約43名 （リモート参加含む）	感染症対策をとりながら招待者なしで実施。 祝賀会の様子をデイルームでリモート中継した。
洛南寮まつり	令和4年11月10日	利用者約150名	感染症対策をとりながら招待者･ボランティアなしで実施。 施設内喫茶や福引き、ゲーム等を実施し楽しんでいただいた。

「介護相談･施設見学会」や「田辺中学校こころもち運動」等、例年実施している事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

（ウ） 文化･ｽﾎﾟｰﾂ関係参加

「桃園小学校ふれあいフェスタ」や「きょうたなべ北部ふれあいまつり」等の事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

（エ） ボランティア受入

「利用者外出支援」や「余暇活動支援プログラム（喫茶･スポーツ等）」等の事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

（オ） ボランティア育成等

「紙すき体験教室」や「中学校生徒職場体験学習」等の事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

（3） 職場内研修実施状況

研修名	実施日	参加人数	研修内容
異動者等職員研修（全体）	令和4年4月4日	8名	令和4年度新規採用職員を対象とした施設概要説明、人権擁護虐待防止、身体拘束について、車イス介助講習の実施 講師：則枝寮長、瀬尾技術次長、宮崎技術次長、長田指導役、吉岡課長補佐、吉田機能訓練指導員
所内研修	令和4年4月28日	19名	「利用者さんの食事を試食し介助に役立ててみよう」 （講師：大宮栄養士）
所内研修	令和4年6月30日	8名	人権研修（身体拘束）虐待防止研修 （講師：則枝寮長）
所内研修	令和4年11月22日	法人20名 関係機関13名	「養護老人ホームの機能と財源の仕組み」 （講師：聖ヨゼフホーム　総合施設長　平岡氏） 「虐待防止の視点」 （講師：関西福祉大学　谷口教授）
消防関連研修	令和5年3月7日	16名	夜間想定の避難訓練 京田辺市消防署による救急救命講習

4　東山母子生活支援施設

（1） 施設利用状況の推移

① 入･退所の状況

（単位:世帯）

区分／年度	年度当初	入所	退所	退所の理由				年度末
				DV･離婚問題解決	生活能力向上	復縁･結婚	未解決･自主退所	
令和2年度	13	5	4	3	1	0	0	14
令和3年度	14	3	5	2	2	0	1	12
令和4年度	12	9	4	2	0	0	2	17

② 月例別世帯数の推移

（単位:世帯）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
令和2年度	13	13	14	13	13	12	13	13	13	14	14	14	13.3
令和3年度	14	14	14	14	15	15	15	15	14	13	12	12	13.9
令和4年度	13	13	14	16	17	17	19	19	19	18	17	17	16.5

＊各月　月末現在

③ 入所前の状況

（単位:世帯）

区分／年度	DV	生計破綻	住居問題等	養育問題	死別	その他	合計
令和2年度	12	0	2	0	0	0	14
令和3年度	10	0	2	0	0	0	12
令和4年度	14	0	2	1	0	0	17

④ 在所期間の状況

（単位:世帯）

区分／年度	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上	合計
令和2年度	5	5	1	1	1	1	14
令和3年度	2	4	4	1	0	1	12
令和4年度	9	2	4	2	0	0	17

⑤ 児童の就学等の状況

（単位:名）

区分／年度	未就学	小学校	中学校	高等学校	その他	合計
令和2年度	8	12	4	0	0	24
令和3年度	8	8	4	0	1	21
令和4年度	12	10	2	1	1	26

⑥ 一時保護利用状況（配偶者等からの暴力行為一時保護事業）

区分 年度	世帯数	利用者数	利用日数
令和2年度	0世帯	0人	0日
令和3年度	0世帯	0人	0日
令和4年度	0世帯	0人	0日

※ 京都府家庭支援総合センター（京都府婦人相談所）からの一時保護

（2） 地域に向けた公益的な取組み

① 地域に向けた活動

「清水まつり」や「東山区民ふれあいひろば」等、例年実施している事業は新型コロナウィルス感染症拡大防止の為中止

② ボランティア受入

事業名称	実施日	参加者	実施内容
学生ボランティア（2大学4名）	3/22、3/23、3/24（学童遠足）	学童児及び学童職員	学童保育の時間内に学童児との交流。
さいもんめ学生サークル活動	6/15、6/22、6/29、7/13、7/16、7/20、8/1、8/8、8/9、8/31、9/14、9/21、9/28、10/5、10/12、10/19、10/22、10/26、11/2、11/9、11/12、11/16、11/23、12/7、12/10、12/14、12/21、12/27（学童遠足）、1/18、2/1、2/8、2/11、2/22、2/25、3/1、3/11、3/15、3/24（学童遠足）、3/28（1回生企画）、3/29	学童児及び学童職員 FHパーティーは利用者及び職員	学童保育の時間内に学童児との交流。 （R4年度より対面での活動を復活）
さいもんめ学生サークル活動 （学習支援：水曜）	5/11、5/25、7/6、7/13、7/20、10/19、11/16、12/7、12/21、2/8、2/22	学童児及び学童職員	中高生の学習支援（5月はZOOM）

（3） 職場内研修実施状況

研修名	実施日	参加人数	研修内容
「東山ファミリーホーム虐待対応マニュアル検討会」	4／20（水）	10名	例年実施されている虐待学習と虐待対応マニュアルの確認を行う。（講師：飯田こころの相談員）
アサーショントレーニング	6／1（水）	10名	自己表現のトレーニング（講師：飯田こころの相談員）
京都府ヤングケアラー総合支援センターについて	7／6（水）	10名	”京都府ヤングケアラー総合支援センターについて”“ヤングケアラーとは”（講師：京都府ヤングケアラー総合支援センター　能勢文音センター長）
女性のための東洋医学	8／25（水）	10名	”視力障害者福祉センターの紹介””講演とセルフケア紹介、お灸体験”（講師：視力障害者福祉センター金盛副所長）

子どもに向けた性教育とジェンダー	1／12（木）	10名	”性暴力、児童虐待とDV””DVはなぜ起きるのか”（講師：吉田容子弁護士、NPOアウンジャ　岡本カヨコ氏）
令和4年度第2回DV被害者支援専門研修	2／13（月）、2／14（火）	10名	”困難な問題を抱える女性への支援に関する法律について””民間団体の女性支援の実際”（講師：京都府家庭支援総合センター女性グループ）
派遣研修復命研修	3／1（水）	10名	＜復命研修＞”日本子ども虐待防止学会””令和4年度ファミリーソーシャルワーク研修会”（講師：有末支援員、飯田こころの相談員、石田支援員）

5　視力障害者福祉センター

（1） 施設利用状況の推移

① 入・退所の状況　（単位：名 ）

区分 / 年度	種別	年度当初			途中退所			年度末					
			あん摩科	はり科		あん摩科	はり科			あん摩科		はり科	
令和2年度	通所	17	8	9	4	3	1	13	(4)	5	(2)	8	(2)
	入所	8	5	3	0	0	0	8	(2)	5	(2)	3	0
	計	25	13	12	4	3	1	21	(6)	10	(4)	11	(2)
令和3年度	通所	12	4	8	2	1	1	10	(3)	3	(2)	7	(1)
	入所	12	7	5	3	2	1	9	(6)	5	(4)	4	(2)
	計	24	11	13	5	3	2	19	(9)	8	(6)	11	(3)
令和4年度	通所	11	1	10	1	0	1	10	(4)	1	(1)	9	(3)
	入所	7	4	3	1	0	1	6	(5)	4	(3)	2	(2)
	計	18	5	13	2	0	2	16	(9)	5	(4)	11	(5)

※視力センターにおいては、入所試験により年度当初に利用者を決定するため、年度中の入所はない。

※年度末在籍欄の（　）数字については、うち数で卒業生の人数を記載

※途中退所には休所人数を含む

② 月例別利用者数の推移　（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均利用者数
令和2年度	25	25	24	24	24	23	22	22	22	22	21	21	22.9
令和3年度	24	24	24	24	24	22	21	20	20	20	20	19	21.8
令和4年度	18	18	18	17	16	16	16	16	16	16	16	16	16.6

③ 年齢別状況　（単位：名）

区分 / 年度	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	合計
令和2年度	1	6	4	6	8	25
令和3年度	0	5	4	7	8	24
令和4年度	0	3	4	6	5	18

④ 地域別入所者の状況　（単位：名）

区分 / 年度	京都市	宇治市	城陽市	京田辺市	八幡市	京都府他市	京都府他町村	他府県	合計
令和2年度	7	0	1	0	2	1	0	14	25
令和3年度	5	0	2	0	0	1	0	16	24
令和4年度	7	0	2	0	0	0	0	9	18

⑤ 卒業後の進路状況 （単位：名 ）

年度	区分 科別	進学	教員養成施設	病院医院	治療院	自営	老人福祉施設等	聴講	その他	計
令和2年度	あん摩科	0	0	0	3	0	0	1	0	4
	はり科	0	0	0	1	0	0	0	※1	2
	計	0	0	0	4	0	0	1	0	6
令和3年度	あん摩科	0	0	0	3	1	0	2	0	6
	はり科	0	0	1	4	0	0	0	0	5
	計	0	0	1	7	1	0	2	1	※11
令和4年度	あん摩科	0	0	0	2	0	0	0	※2	4
	はり科	0	0	0	0	1	2	1	0	4
	計	0	0	0	2	1	2	1	0	8

※令和2年度その他欄は、企業内施術者1名

※令和3年度計11名には、在学中に就職者2名含む

※令和4年度その他欄は、就労継続支援A型事業所1名、在宅者1名

⑥ 国家試験合格率 （単位：名 ）

年度	区分 種別	あん摩ﾏｯｻｰｼﾞ指圧師	はり師	きゅう師	合計
令和2年度	受験者数	6	2	2	10
	合格者数	5	2	2	9
	合格率(%)	83.3%	100.0%	100.0%	―
令和3年度	受験者数	7	5	5	17
	合格者数	5	5	5	15
	合格率(%)	71.4%	100.0%	100.0%	―
令和4年度	受験者数	7	4	4	15
	合格者数	6	3	3	12
	合格率(%)	85.7%	75.0%	75.0%	―

⑦ あん摩･はり 臨床実習の状況 （単位：名 ）

区分 年度	あん摩･マッサージ	はり･きゅう	合計
令和2年度	729	105	834
令和3年度	472	110	582
令和4年度	626	198	824

⑧ 相談支援内容の内訳 （単位：件）

区分 年度	サービス等利用計画の作成	サービス等利用計画の再評価	合計
令和2年度	16	20	36
令和3年度	8	15	23
令和4年度	3	15	18

（2） 地域に向けた公益的な取組み

① 地域に向けた活動

事業名称	実施日	招待者･参加者	実施内容
地域あん摩奉仕	令和4年11月4日	53名	昨年度同様に感染症対策を講じて、地域住民の方や臨床実習利用者の方々に対し、日頃のご協力に感謝を込めて、無料のあん摩施術を提供
健康講座	令和4年11月30日	4名	テーマ:「加齢に伴う、目や耳のおとろえに対するツボ療法」 講師:松本所長

（3） 職場内研修実施状況

研修名	実施日	参加人数	研修内容
理療科教員研修会	令和4年12月2日	12名	テーマ:「美容鍼灸における研究の最新知見」 講師:明治国際医療大学　講師　山﨑　翼氏
国家試験対策研修会	令和4年6月21日･22日 令和4年9月13日･14日 令和4年11月1日 令和5年1月24日･25日 令和5年2月28日	延べ96名	テーマ:「第31回国家試験の出題傾向と対策について」 講師:各科目担当教員
業務改善研修会	令和5年3月1日	15名	テーマ:「グループワークを通じたコンセンサスの形成について」 講師:メディカルチームクリエーター　山中　智香氏
授業内容改善会議	令和4年8月2日 令和4年12月20日	延べ25名	テーマ:「授業の質の向上を目指した学習支援について」 講師:各科目担当教員
虐待防止･権利擁護研修	令和4年11月2日 ～令和5年1月31日	18名	テーマ:「身体拘束防止の基礎」 講師:イーケアラボ　金山　峰之氏
施術者マナー講習会	令和5年3月1日	13名	テーマ:「クレーム対応のポイント」 講師:メディカルチームクリエーター　山中　智香氏
面接研修会	令和5年3月1日	7名	テーマ:「就職活動における面接の基本マナーと指導」 講師:一浦教員、川口教員

6　桃山学園

（1） 施設利用状況の推移

① 障害児入所施設

（ア）入・退所児童数　（単位：名）

区分 / 年度	年度当初	入所	退所	退所の理由				年度末
				就職	家庭復帰	成人施設	その他	
令和2年度	23(10)	2(0)	3(1)	0(0)	0(0)	3(1)	0(0)	22(9)
令和3年度	22(9)	7(1)	5(2)	0(0)	1(1)	2(1)	2(0)	24(8)
令和4年度	23(8)	3(2)	3(0)	0(0)	2(0)	0(0)	1(0)	23(10)

※令和4年度末措置停止中1名

（ ）内は契約者数

（イ） 月例別入所者数の推移　（単位：名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
令和2年度	23	24	23	23	23	24	24	24	24	24	24	22	23.5
令和3年度	22	21	22	22	22	22	22	26	26	26	26	24	23.4
令和4年度	23	23	24	25	25	25	24	24	23	23	23	23	23.8

（ウ） 年齢別状況　（単位：名）

区分 / 年度	2～5歳（幼児）	6～12歳（小学生）	13～15歳（中学生）	16歳～18歳（高校生）	18歳以上	合計
令和2年度	0	5	13	4	0	22
令和3年度	1	8	6	9	0	24
令和4年度	0	5	9	9	0	23

（エ） 入所前の状況　（単位：名）

区分 / 年度	保護者				児童		合計
	死亡 行方不明	病気/入院	養育能力欠如	虐待	不適応行動	生活習慣の乱れ	
令和2年度	1	1	15	5	0	0	22
令和3年度	0	1	17	6	0	0	24
令和4年度	0	1	16	6	0	0	23

（オ） 在所期間の状況　（単位：名）

区分 / 年度	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上	合計
令和2年度	3	5	2	4	2	6	22
令和3年度	6	4	4	2	4	4	24
令和4年度	3	4	2	5	4	5	23

（カ） 児童の就学等の状況　（単位：名）

区分 / 年度	未就学	小学校	中学校	高等学校	過齢児	合計
令和2年度	0	5	13	4	0	22
令和3年度	1	8	6	9	0	24
令和4年度	0	5	9	9	0	23

（キ） 一時保護利用状況

区分 / 年度	利用者数	利用日数
令和2年度	1名	7日
令和3年度	4名	39日
令和4年度	12名	91日

（ク） 退所後の進路状況　（単位：名 ）

区分 / 年度　科別	一般就労	就労支援A型	就労支援B型	生活介護事業所	施設入所	その他	計
令和2年度	0	0	1	1	0	1	3
令和3年度	0	0	0	0	3	2	5
令和4年度	0	0	0	0	0	3	3

（ケ） 障害程度(IQ･DQ)別状況　（単位：名）

区分 / 年度	軽度(51～75)	中度(36～50)	重度(20～35)	最重度(19以下)	合　計（再掲　強度行動障害児）
令和2年度	13	0	7	2	22 (4)
令和3年度	14	0	8	2	24 (6)
令和4年度	13	0	8	2	23 (6)

（コ） 短期入所及び日中一時支援の状況　（単位：名）

区分 / 年度	短期入所		日中一時支援		備考 契約市町村
	利用実人数	利用延べ日数	利用実人数	利用延べ日数	
令和2年度	11	140日	3	18日	京都市、大山崎町、向日市、京田辺市、長岡京市、宇治市、亀岡市、舞鶴市
令和3年度	14	111日	5	21日	京都市、大山崎町、向日市、京田辺市、亀岡市、宇治市、城陽市、
令和4年度	11	130日	4	25日	京都市、大山崎町、向日市、京田辺市、亀岡市、宇治市、城陽市

② 児童養護施設

（ア） 入･退所児童数

（単位:名）

区分 年度	年度当初	入所	退所	退所の理由				年度末
				家庭復帰	進学	就職	その他	
令和2年度	28	6	2	0	0	1	1	32
令和3年度	32	2	6	0	2	0	4	28
令和4年度	28	4	5	3	0	1	1	27

※令和2年度末児童数32名には、措置停止児童2名を含む。

（イ）月例別入所者数の推移

（単位:名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
令和2年度	28	27	29	29	29	29	29	29	29	30	30	32	29.2
令和3年度	32	30	30	30	30	30	30	30	30	29	29	29	29.9
令和4年度	28	28	26	27	27	25	25	26	26	26	27	27	26.5

（ウ） 年齢別状況

（単位:名）

区分 年度	2～5歳 （幼児）	6～12歳 （小学生）	13～15歳 （中学生）	16歳～18歳 （高校生）	18歳以上	合計
令和2年度	6	11	7	8	0	32
令和3年度	4	9	7	7	1	28
令和4年度	6	9	5	7	0	27

（エ） 入所前の状況

（単位:名）

区分 年度	保護者				児童		合計
	死亡 行方不明	病気/入院	養育能力 欠如	虐待	不適応行動	生活習慣 の乱れ	
令和2年度	0	0	9	20	2	1	32
令和3年度	0	0	8	17	2	1	28
令和4年度	0	0	7	18	2	0	27

（オ） 在園期間の状況

（単位:名）

区分 年度	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上	合計
令和2年度	6	3	5	5	5	8	32
令和3年度	2	5	4	4	4	9	28
令和4年度	4	2	4	2	4	11	27

（カ） 児童の就学等の状況 （単位：名）

区分 年度	未就学（幼稚園含む）	小学生	中学生	高校生	措置延長	合計
令和2年度	6	11	7	8	0	32
令和3年度	4	9	7	7	1	28
令和4年度	7	9	6	5	0	27

（キ） 一時保護利用状況

区分 年度	利用者数	利用日数
令和2年度	1名	4日
令和3年度	0名	0日
令和4年度	13名	128日

（ク） 一時預かり(各市町村子育て支援事業)利用状況 （単位：名）

区分 年度	利用状況			委託理由別延べ人数					
	利用人数	利用回数	利用延べ人数	保護者仕事	保護者入院等	保護者出産	保護者看護	保護者冠婚葬祭	その他（リフレッシュ等）
令和2年度	0	0回	0	0	0	0	0	0	0
令和3年度	0	0回	0	0	0	0	0	0	0
令和4年度	14	40回	16	5	1	1	0	1	8

（ケ） 高校卒業後の進路状況 （単位：名 ）

区分 年度　科別	就職	進学	福祉的就　労	計
令和2年度	0	2	0	2
令和3年度	0	2	0	2
令和4年度	0	1	0	1

（2） 地域に向けた公益的な取組み

① 地域に向けた活動

事業名称	実施日	招待者･参加者	実施内容
第61回桃山学園祭	令和4年11月3日	214名	コロナ禍の中ではあったが、学校関係、児童相談所等行政関係、保護者やボランティア等外部者を招き、小規模ではあるが飲食やゲームコーナーを開設したほか、児童や職員によるステージ発表や作品展示を行った。

② ボランティア受入

事業名称		実施回数	参加者	実施内容
学園行事		1回	17名	京都京洛ライオンズクラブ他、個人ボランティア 等桃山学園祭における模擬店等の支援
余暇支援	（障害児入所施設）	3回	5名	学生ボランティアによる洗濯物の仕分け
	（児童養護施設）	1回	10名	ダンス
理美容支援	（障害児入所施設）	10回	45名	希望児童の散髪を1～2ヶ月に1回実施
	（児童養護施設）	8回	106名	

（3） 職場内研修実施状況

研修名	実施日	参加人数	研修内容
所内研修	令和4年7月14日 令和4年9月15日 令和4年10月17日 令和4年11月17日 令和4年12月13日 令和5年2月14日 令和5年3月7日	延べ183名	「LDの学習支援」「個別支援計画作成」「施設見学報告会」「ケース記録の書き方セミナー」「相談支援専門員等スキルアップ研修」「発達障害に関する勉強会」「虐待を受けた子どもの心の支援」「超入門自閉症支援講座」「児童に関する専門部会」 ※課内会議等で職員が講師となり実施
防犯講習会	令和4年12月6日	12名	伏見警察署員による不審者侵入想定　防犯研修
ドライバー適性検査	令和4年5月16日 令和4年5月20日 令和4年5月23日	延べ33名	職員に信頼性の高い運転適性検査を実施し、職員自らが自身の運転適性や行動特性を理解し、安全運転への意識の向上を図り、事故防止に繋げる
保健研修(精神科医研修)	令和4年4月27日	4名	発達障害について
人権研修(4回シリーズ)	令和4年9月29日 令和4年11月15日 令和5年1月26日 令和5年2月16日	延べ112名	人権に係る講義に加え、毎回事例を用いて対応に関するグループ討論を繰り返し、捉え方や考え方を深める。
はばたき合同勉強会	令和4年5月16日 令和4年6月30日 令和4年 9月9日 令和4年 10月17日 令和4年 12月12日 令和5年2月6日	各12名	ケース事例を通して、支援のあり方や将来を見据え社会資源や活用方法などを学ぶ。
外部アドバイザーによる ケースカンファレンス	令和4年5月24日 令和4年6月13日 令和4年7月11日 令和4年8月29日 令和4年9月12日 令和4年10月11日 令和4年11月15日 令和4年12月12日 令和5年1月16日 令和5年2月27日 令和5年3月13日	延べ93名	外部アドバイザー（多賀谷　洋氏）を招いてのケース検討
施設見学 青葉学園 淇陽学校 東山ファミリーホーム	令和4年7月12日 令和4年 9月8日 令和4年9月15日	延べ18名	児童に係る他施設の見学をすることで、支援の在り方を学ぶと共に、連携を探る。
保健研修(AED研修)	令和4年12月2日	3名	人工呼吸、心臓マッサージの方法及び実技、AEDの使用方法の説明と実技、日常生活における応急処置の仕方を学ぶ。
感染症対策研修	令和4年12月8日	4名	感染症対策の動画視聴、医師からの講義

7　こども発達支援センター

（1） 施設利用状況の推移

① 通園部門

（ア） 入・退園の状況　　（単位：名 ）

年度	種別（区分）	年度当初	入園	退園の状況				年間開所日数	延べ通園人数	通園率（%）
					卒園	終了	移行			
令和2年度	福祉型：児童発達	50	25	31	9	22	0	223	3,784	56.6
	医療型：児童発達	10	9	5	0	5	0	223	766	11.4
	児童発達（重心）	9	5	4	2	2	0	223	372	33.4
	計	69	39	40	11	29	0	—	—	—
令和3年度	福祉型：児童発達	49	17	28	15	13	0	218	3,330	50.9
	医療型：児童発達	15	5	12	0	6	6	218	1,233	18.9
	児童発達（重心）	7	1	5	4	0	1	218	321	29.4
	計	71	23	45	19	19	7	—	—	—
令和4年度	福祉型：児童発達	59	38	35	15	7	13	225	3,511	52.0
	医療型：児童発達	9	6	4	0	1	3	225	720	10.7
	児童発達（重心）	3	1	2	2	0	0	225	116	10.3
	計	71	45	41	17	8	16	—	—	—

※「年度当初」及び「入園」欄には4月1日付け入園児数を含む。

※「定員に対しての通園率」＝「実際の延べ通園人数」÷「最大通園人数（定員×年間開園日数）」

（イ）月例別通園児数の推移　　（単位：名）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均通園児数
2	福祉型：児童発達	50	52	52	54	56	57	59	57	63	62	64	64	57.5
	医療型：児童発達	10	10	11	11	12	13	12	12	12	15	16	17	12.6
	児童発達（重心）	9	10	11	11	11	11	10	11	11	11	11	11	10.7
	合計	69	72	74	76	79	81	81	80	86	88	91	92	80.8
3	福祉型：児童発達	49	50	49	49	52	53	51	51	50	50	49	60	51.1
	医療型：児童発達	15	16	16	18	18	17	18	18	18	18	18	19	17.4
	児童発達（重心）	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7.8
	合計	71	73	73	75	78	78	77	77	76	76	75	87	76.3
4	福祉型：児童発達	59	60	61	61	61	63	63	62	61	63	64	67	62.1
	医療型：児童発達	9	9	9	9	11	11	11	13	13	13	13	13	11.3
	児童発達（重心）	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	3.7
	合計	71	72	73	73	76	78	78	79	78	80	81	84	76.9

（ウ）卒園後の状況　（単位：名 ）

年度	種別＼区分	支援学校	小学校		合計
			普通学級	障害児学級	
令和2年度	福祉型：児童発達	3	4	2	9
	医療型：児童発達	0	0	0	0
	児童発達（重心）	2	0	0	2
	計	5	4	2	11
令和3年度	福祉型：児童発達	4	7	4	15
	医療型：児童発達	0	0	0	0
	児童発達（重心）	4	0	0	4
	計	8	7	4	19
令和4年度	福祉型：児童発達	4	10	1	15
	医療型：児童発達	0	0	0	0
	児童発達（重心）	2	0	0	2
	計	6	10	1	17

② 診療部門

（ア）外来患者数　（単位：名 ）

年度＼区分	小児科	整形外科	精神科	合計
令和2年度	12,025	262	3,132	15,419
令和3年度	12,304	252	3,164	15,720
令和4年度	12,352	295	3,947	16,594

（イ）セラピー、心理検査実施状況（延べ単位数/件）

年度＼区分	理学療法（単位）	言語療法（単位）	作業療法（単位）	合計	心理検査（件）
令和2年度	5,194	7,131	6,038	18,363	915
令和3年度	5,885	6,628	4,621	17,134	927
令和4年度	5,808	6,800	5,763	18,371	1,069

（ウ）初診待機児童数（発達障害）　（単位：名 ）

年度＼区分	年度当初	新規予約	診察済	待機児童数（3月31日時点）	待機期間
令和2年度	185	407	369	223	5.17ケ月
令和3年度	223	465	397	291	6.85ケ月
令和4年度	256	498	490	248	4.90ヶ月

※待機児童数はキャンセルを控除

③ 地域支援部門

（ア） 訪問療育指導実施状況（医療専門職派遣事業（PT）含む）

年度	区分＼派遣職種	PT（理学療法士）	ST（言語聴覚士）	OT（作業療法士）	心理判定員	その他	合計
令和2年度	指導人員（名）	1	5	6	0	0	12
	訪問先（箇所）	1	2	2	0	0	5
令和3年度	指導人員（名）	2	4	5	0	0	11
	訪問先（箇所）	1	2	2	0	0	5
令和4年度	指導人員（名）	4	5	8	0	0	17
	訪問先（箇所）	2	2	2	0	0	6

※訪問療育指導… 各市町村の療育教室や知的障害者通所施設等へ職員を派遣し、相談指導すること。

（イ）－1 放課後等デイサービス 学年・学級・学校別状況 （単位：名 ）

年度	学年＼学校・学級	通常学級	通級指導教室利用（ことばの教室）	特別支援学級	特別支援学校	計
令和2年度	1年生	0	0	0	0	0
	2年生	1	0	2	0	3
	3年生	9	1	3	0	12
	4年生	8	0	2	0	10
	5年生	7	0	0	0	7
	6年生	7	1	2	0	9
	中学1年生	0	0	1	0	1
	中学2年生	1	0	1	1	3
	計	33	2	11	1	45
令和3年度	1年生	0	0	0	0	0
	2年生	3	2	0	0	3
	3年生	5	1	0	0	5
	4年生	10	3	3	0	13
	5年生	9	2	1	0	10
	6年生	8	2	3	0	11
	中学1年生	5	0	0	0	5
	中学2年生	0	0	1	0	1
	中学3年生	2	0	0	1	3
	計	42	10	8	1	51
令和4年度	1年生	0	0	0	0	0
	2年生	1	1	0	0	1
	3年生	3	0	2	0	5
	4年生	10	2	4	0	14
	5年生	7	1	3	0	10
	6年生	6	1	2	0	8
	中学1年生	8	3	1	0	9
	中学2年生	1	0	0	0	1
	中学3年生	0	0	0	0	0
	高校1年生	0	0	0	1	1
	計	36	8	12	1	49

（イ）－２　放課後等デイサービス　利用状況

	開所日数(日)	延べ利用人数(名)	1日当たり平均(名)
令和2年度	229	2,033	8.9
令和3年度	234	1,962	8.4
令和4年度	237	2,023	8.5

（ウ）放課後等デイサービス　診断名別状況　（単位：名 ）

診断名 / 年度	自閉症スペクトラム（疑いも含む）	高機能広汎性発達障害	広汎性発達障害	ADHD（疑いも含む）
令和2年度	40	0	1	15[13]
令和3年度	39	1	0	15[12]
令和4年度	44	2	1	17[16]

※自閉症スペクトラムとADHD併存している場合もある。[]に記入。

（2）　地域に向けた公益的な取組み

①　地域に向けた活動

事業名称	実施日	招待者・参加者	実施内容
とまり木	4月22日、5月10日 5月26日、6月8日 7月20日、8月5日 9月16日	参加者10名	地域支援の一環として、お子様の発達（知的、情緒、言語）が気になる保護者に対して、気軽に相談できる場を提供し、不安の軽減や日々のお子様との関わり方などを提案していく。

②　ボランティア受入

事業名称	実施日	参加者	実施内容
通園部門	令和5年3月24日	1名	保育室の清掃/玩具消毒等
放課後等デイサービス	火～金	21名	放デイ活動の補助、すてっぷマーケット：延べ受け入れ 40名

（3）職場内研修実施状況

研修名	実施日	参加人数	研修内容
職員研修（所内研修）	R4,4,5	9人	新任研修 講師：石川次長・遠藤課長・坂東参事・中村課長補佐・吉田 目的：センター全体の役割や各課が行っている事業について理解する
職員研修（所内研修）	R4,4,8	5人	コミュニケーション、言語発達について 講師：山川ST 目的：STを待機している保護者にことばの発達についての説明を行う
職員研修（所内研修）	R4,5,18	10人	救命救急講習 講師：田辺消防署 目的：救命講習の知識・技術の取得・再確認
職員研修（所内研修）	R4,5,20	24人	窒息時の対応について 講師：青山課長 目的：窒息時の対応について確認する
職員研修（所内研修）	R4,5,30	17人	摂食・嚥下の障害～①基礎編～ 講師：松本ST 目的：通園での摂食指導を各職員が行えるように、摂食・嚥下の障害について基礎を学ぶ。
職員研修（所内研修）	R4,7,4	3人	所内研修（PT） ポジショニングについて 講師：岩崎ST 目的：通園（医療型・重心）でのポジショニングを各職員が行えるよう基礎知識・技術を学ぶ。
職員研修（所内研修）	R4,7,11	20人	摂食・嚥下の障害～②実践編 講師：ST 目的；通園児の給食動画を見て、課題や支援方法について検討する。
職員研修（所内研修）	R5,11,30	15人	内服について 講師：林田医長 目的：内服についての利用者からの質問や問い合わせに対応できる

8　発達障害者支援センター

(1) 施設利用の状況

① 障害種別利用状況(実支援人員)　(単位:名)

区分 年度	自閉症	ｱｽﾍﾟﾙｶﾞｰ症候群	広汎性発達障害	注意欠陥多動性障害(AD/HD)	学習障害(LD)	その他	不明(未診断を含む)	合計
令和2年度	95 (32)	20 (1)	13 (2)	41 (15)	6 (3)	25 (3)	207 (39)	407 (95)
令和3年度	97 (41)	17 (0)	18 (3)	32 (13)	3 (3)	19 (6)	218 (41)	404 (107)
令和4年度	83 (39)	10 (0)	11 (0)	31 (11)	8 (7)	19 (7)	214 (35)	376 (99)

※(　)内はこども相談室実支援人員

② 年齢別利用状況(実支援人員)　(単位:名)

区分 年度	0～6歳(乳幼児)	7～12歳(小学生)	13～18歳(中・高校生)	19歳以上	不明	合計
令和2年度	13 (5)	73 (56)	64 (33)	212	45 (1)	407 (95)
令和3年度	5 (2)	70 (63)	64 (37)	180 (3)	85 (2)	404 (107)
令和4年度	7 (4)	50 (48)	67 (45)	161 (2)	91 (0)	376 (99)

※(　)内はこども相談室実支援人員

③ 相談内容別利用状況(延べ相談件数)　(単位:件)

区分 年度	発達障害の有無	家庭生活	制度	利用機関	教育・進路	対応困難状況の改善	就労・職場	その他	合計
令和2年度	70 (22)	753 (256)	89 (8)	421 (232)	572 (58)	66 (38)	322 (0)	405 (201)	2,698 (815)
令和3年度	43 (22)	870 (343)	131 (19)	421 (108)	725 (456)	138 (90)	330 (0)	371 (157)	3,029 (1,195)
令和4年度	54 (22)	885 (387)	107 (11)	448 (83)	747 (525)	97 (90)	316 (0)	271 (87)	2925 (1205)

※(　)内はこども相談室件数

④ 相談方法(延べ支援人数)　(単位:名)

区分 年度	来所	訪問	電話	その他	合計
令和2年度	376 (165)	82 (41)	1259 (365)	68 (2)	1,785 (573)
令和3年度	384 (185)	86 (49)	1,379 (476)	65 (0)	1,914 (710)
令和4年度	426 (251)	123 (63)	1202 (387)	72 (2)	1823 (703)

※(　)内はこども相談室実支援人員

職員配置状況

令和5年3月31日現在

職種	法人全体			本部事務局			心身障害者福祉センター															洛南寮									東山母子生活支援施設			視力障害者福祉センター		
							計			障害者支援施設			自立訓練・TOMO			リハビリ病院			体育館			計			養護老人			救護施設								
	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計
事務職員	35	2	37	12	0	12	6	0	6	5	0	5			0	1		1			0	4	0	4	2		2	2		2	1		1	1	1	2
医師	10	20	30			0	5	3	8			0			0	5	3	8			0	0	2	2		1	1		1	1		1	1		2	2
歯科医師	1	0	1			0	1	0	1			0			0	1		1			0	0	0	0			0			0			0			0
生活支援員	64	15	79	1		1	26	7	33	25	7	32	1		1			0			0	37	8	45	17	6	23	20	2	22			0			0
職業生活支援員兼教員	13	0	13			0	0	0	0			0			0			0			0	0	0	0			0			0			0	13		13
体育指導員	3	2	5		1	1	3	1	4			0			0			0	3	1	4	0	0	0			0			0			0			0
少年支援員	3	1	4			0	0	0	0			0			0			0			0	0	0	0			0			0	3	1	4			0
児童支援員	24	0	24			0	0	0	0			0			0			0			0	0	0	0			0			0			0			0
母子支援員	4	0	4			0	0	0	0			0			0			0			0	0	0	0			0			0	4		4			0
相談支援員	5	1	6			0	2	0	2			0	2		2			0			0	0	0	0			0			0			0			0
訪問支援員	2	0	2			0	0	0	0			0			0			0			0	0	0	0			0			0			0			0
発達支援員	2	0	2			0	0	0	0			0			0			0			0	0	0	0			0			0			0			0
保育士	23	0	23			0	0	0	0			0			0			0			0	0	0	0			0			0			0			0
公認心理師	5	0	5			0	1	0	1			0			0	1		1			0	0	0	0			0			0			0			0
臨床心理士	0	0	0			0	0	0	0			0			0			0			0	0	0	0			0			0			0			
理学療法士	9	0	9			0	4	0	4			0			0	4		4			0	1	0	1	1		1			0			0			0
作業療法士	9	0	9			0	5	0	5			0	1		1	4		4			0	0	0	0			0			0			0			0
言語聴覚士	6	0	6			0	1	0	1			0			0	1		1			0	0	0	0			0			0			0			0
薬剤師	1	1	2			0	1	1	2			0			0	1	1	2			0	0	0	0			0			0			0			0
臨床検査技師	1	1	2			0	1	0	1			0			0	1		1			0	0	0	0			0			0			0			0
診療放射線技師	1	2	3			0	1	1	2			0			0	1	1	2			0	0	0	0			0			0			0			0
栄養士	7	0	7			0	3	0	3	1		1			0	2		2			0	1	0	1			0	1		1			0	1		1
看護師	23	9	32			0	14	4	18	2		2			0	12	4	16			0	4	0	4	2		2	2		2			0		1	1
准看護師	2	1	3			0	2	1	3			0			0	2	1	3			0	0	0	0			0			0			0			0
歯科衛生士	0	1	1			0	0	1	1			0			0		1	1			0	0	0	0			0			0			0			0
自動車運転員	0	1	1			0	0	0	0			0			0			0			0	0	1	1			0		1	1			0			0
調理員	0	3	3			0	0	0	0			0			0			0			0	0	0	0			0			0			0			0
その他技術職員	0	13	13			0	0	2	2			0			0		2	2			0	0	1	1		1	1			0		1	1		1	1
合計	253	73	326	13	1	14	76	21	97	33	7	40	4	0	4	36	13	49	3	1	4	47	12	59	22	8	30	25	4	29	8	3	11	15	5	20

※「常勤」とは週40時間勤務の職員をいう
※「非常勤」とは週40時間未満勤務の職員をいう

※理事長、常務理事を含めない
※施設長は、医師を除き「事務職員」
※「リハビリ病院」　宿直医師を含めない
※視力障害者福祉センター　ヒューマンアシスタントはその他技術職員勘定
※桃山学園　児童指導補助員はその他技術職員勘定

職種	桃山学園									こども発達支援センター																											発達障害者支援センター		
	計			障害児入所			児童養護			計			福祉型			医療型			児童発達			相談・検査			保育所訪問			障害児相談			放課後等デイ					
	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計
事務職員	3	0	3	2		2	1		1	6	1	7	1		1	1	1	2			0	4		4			0			0			0	2		2
医師	0	2	2		2	2			0	5	10	15			0			0			0	5	10	15			0			0			0			0
歯科医師	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0			0
生活支援員	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0			0
職業生活支援員兼教員	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0			0
体育指導員	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0			0
少年支援員	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0			0
児童支援員	20	0	20	10		10	10		10	4	0	4	1		1			0			0			0			0			0	3		3			0
母子支援員	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0			0
相談支援員	0	0	0			0			0	1	0	1			0			0			0			0			0	1		1			0	2	1	3
訪問支援員	0	0	0			0			0	2	0	2			0			0			0			0	2		2			0			0			0
発達支援員	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0	2		2
保育士	10	0	10	7		7	3		3	13	0	13	7		7	3		3	1		1			0	1		1			0	1		1			0
公認心理師	0	0	0			0			0	4	0	4			0			0			0	4		4			0			0			0			0
臨床心理士	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0			0
理学療法士	0	0	0			0			0	4	0	4			0	1		1			0	3		3			0			0			0			0
作業療法士	0	0	0			0			0	4	0	4			0			0			0	4		4			0			0			0			0
言語聴覚士	0	0	0			0			0	5	0	5			0			0			0	4		4			0			0	1		1			0
薬剤師	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0			0
臨床検査技師	0	0	0			0			0	0	1	1			0			0			0		1	1			0			0			0			0
診療放射線技師	0	0	0			0			0	0	1	1			0			0			0		1	1			0			0			0			0
栄養士	1	0	1	1		1			0	1	0	1	1		1			0			0			0			0			0			0			0
看護師	0	0	0			0			0	5	4	9			0	1		1	1		1	3	4	7			0			0			0			0
准看護師	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0			0
歯科衛生士	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0			0
自動車運転員	0	0	0			0			0	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0			0
調理員	0	0	0			0			0	0	3	3		3	3			0			0			0			0			0			0			0
その他技術職員	0	8	8			0		8	8	0	0	0			0			0			0			0			0			0			0			0
合計	34	10	44	20	2	22	14	8	22	54	20	74	10	3	13	6	1	7	2	0	2	27	16	43	3	0	3	1	0	1	5	0	5	6	1	7

https://ksj.or.jp/

社会福祉法人 京都府社会福祉事業団
〒604-0874
京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375番地
京都府立総合社会福祉会館（ハートピア京都）6階
TEL 075-222-2212 FAX 075-222-2236